

令和元年度

# 島根県大気環境測定 結果報告書

令和 4 年 12 月

島根県保健環境科学研究所

大気環境科

# 目 次

## I. 大気環境測定結果の概要

令和元年度大気環境測定結果の概要

## II. 測定地点および測定項目

### 1. 大気環境常時監視測定

- (1) 島根県内大気汚染常時監視測定局一覧
- (2) 一般環境大気測定局の位置・測定項目
- (3) 自動車排出ガス測定局の位置・測定項目
- (4) 大気汚染常時監視測定局分布図

### 2. 微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）成分分析

- (1) 調査地点
- (2) 調査期間
- (3) 測定項目
- (4) PM<sub>2.5</sub>成分分析調査地点分布図

### 3. 有害大気汚染物質測定

- (1) ベンゼン等測定地点
- (2) 有害大気汚染物質測定地点分布図

### 4. 酸性雨測定

- (1) 調査地点
- (2) 測定項目
- (3) 酸性雨調査地点分布図

## III. 大気の汚染に係る環境基準等

### 1. 大気汚染常時監視測定に係る環境基準

- (1) 環境基準
- (2) 評価方法
- (3) 大気中炭化水素濃度の指針

### 2. 有害大気汚染物質測定に係る環境基準と指針値

- (1) ベンゼン等に係る環境基準
- (2) その他の物質に係る指針値

## IV. 大気汚染常時監視測定局測定結果

凡 例

### 1. 年間値測定結果

- (1) 二酸化硫黄
- (2) 一酸化窒素、二酸化窒素及び窒素酸化物
- (3) 一酸化炭素

- (4) 光化学オキシダント
- (5) 浮遊粒子状物質
- (6) 非メタン、メタン及び全炭化水素
- (7) 微小粒子状物質（PM2.5）
- (8) 風向・風速
- (9) 溫度・湿度
- (10) 測定期風配図
- (11) 年平均値比較
- (12) 経年変化グラフ

## V. 微小粒子状物質（PM2.5）成分分析結果

### 1. 成分分析結果

- (1) 微小粒子状物質（PM2.5）季節別成分分析結果
- (2) 地点季節別平均成分濃度・割合図

## VI. 有害大気汚染物質測定結果

### 1. 年間測定結果

- (1) ベンゼン
- (2) トリクロロエチレン
- (3) テトラクロロエチレン
- (4) ジクロロメタン
- (5) アクリロニトリル
- (6) 塩化ビニルモノマー
- (7) クロロホルム
- (8) 1,2-ジクロロエタン
- (9) 水銀及びその化合物
- (10) ニッケル化合物
- (11) ヒ素及びその化合物
- (12) 1,3-ブタジエン
- (13) マンガン及びその化合物
- (14) ~ (20) その他有害大気汚染物質

### 2. 経年変化

- (1) ベンゼン
- (2) トリクロロエチレン
- (3) テトラクロロエチレン
- (4) ジクロロメタン
- (5) アクリロニトリル
- (6) 塩化ビニルモノマー
- (7) クロロホルム

- (8) 1, 2-ジクロロエタン
- (9) 水銀及びその化合物
- (10) ニッケル化合物
- (11) ヒ素及びその化合物
- (12) 1, 3-ブタジエン
- (13) マンガン及びその化合物
- (14) ~ (21) その他有害大気汚染物質

## VII. 酸性雨測定結果

- 1. 酸性雨測定結果
- 2. 経年変化

[付録] 高濃度オキシダント事象の概況

# I . 大気環境測定結果の概要

## 1. 令和元年度 島根県の大気環境概況

県内の大气汚染状況の常時監視は、一般環境大気測定局8か所、自動車排出ガス測定局1か所において行った。

一般環境大気測定局において、光化学オキシダントは全ての測定局で環境基準を達成しておらず、5月23日には光化学オキシダント注意報が発令された。二酸化硫黄は1測定局を除いて環境基準を達成した。二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質（SPM）及び微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）については、全ての測定局で環境基準を達成した。

自動車排出ガス測定局では、二酸化窒素、一酸化炭素及び浮遊粒子状物質（SPM）の全ての項目で環境基準を達成していた。

年平均値の経年変化は、光化学オキシダントはほぼ横ばい傾向、その他の項目は概ね減少傾向にある。

有害大気汚染物質による汚染状況は、全4地点でモニタリングを行った。環境基準が設定されているベンゼン等4物質、指針値が設定されているアクリロニトリル等9物質は全て基準及び指針値を下回った。

酸性雨調査は2地点で行った。pHの年平均値の経年変化は平成18年頃からほぼ横ばいであるものの、平成26年度ごろから上昇傾向にある。

## 2. 一般環境大気測定局における常時監視の状況

### ア. 二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）

紫外線蛍光法により測定した。各測定局の年平均値は0.001ppm、日平均値の最高値は0.004～0.011ppm、日平均値の2%除外値は0.002～0.007ppmであった。短期的評価については江津市役所を除く測定局で、長期的評価については全ての測定局で環境基準を達成していた。

年平均値の経年変化は、減少する傾向を示した。

### イ. 窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）

化学発光法により測定した。二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）について、各測定局の年平均値は0.002～0.003ppm、日平均値の年間98%値は0.004～0.006ppmであり、全ての局で環境基準を達成していた。なお、窒素酸化物に占める二酸化窒素の割合は、各測定局において80.8～91.6%であった。

年平均値の経年変化は、一酸化窒素（NO）、二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）とともに、減少する傾向を示した。

#### ウ. 一酸化炭素 (CO)

非分散型赤外分析計法により国設松江でのみ測定した。日平均値の最高値は0.4ppm、日平均値の2%除外値は0.3ppm、1時間値の8時間平均値はいずれも20ppm以下であり、短期的及び長期的評価による環境基準を達成していた。

年平均値の経年変化は、概ね横ばい傾向を示した。

#### エ. 光化学オキシダント ( $O_x$ )

紫外線吸収法により測定した。昼間の1時間値が環境基準0.06ppmを超えた時間数は各測定局において380～568時間となっており、全ての局で環境基準を達成しなかった。また、全ての測定局で昼間の1時間値が注意報発令基準0.12ppmを超えた日が1日あつた（「付録」を参照）。

昼間の年平均値の経年変化は、概ね横ばい傾向を示した。

#### オ. 浮遊粒子状物質 (SPM)

ベータ線吸収法により測定した。年平均値は0.010～0.014mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.061～0.112mg/m<sup>3</sup>、日平均値の最高値は0.035～0.051mg/m<sup>3</sup>、日平均値の2%除外値は0.029～0.036mg/m<sup>3</sup>であった。全ての測定局で短期的および長期的評価による環境基準を達成していた。

年平均値の経年変化は、減少する傾向を示した。また、江津市役所については、他の測定局に比べ平成27年度に比較的大きな濃度低下が見られるが、これは測定機器の更新などによるものと推測される。

#### カ. 炭化水素 (NMHC、CH<sub>4</sub>)

水素炎イオン化検出器を用いたガスクロマトグラフ法により国設松江局でのみ測定した。非メタン炭化水素 (NMHC) においては、年平均値が0.04ppmC、午前6～9時の3時間平均値の最高値は0.10ppmCであり、指針値（午前6～9時の3時間平均値が0.20～0.31ppmC）を超えることはなかった。

年平均値の経年変化は、非メタン炭化水素 (NMHC) はゆるやかな減少傾向、メタン (CH<sub>4</sub>) はゆるやかな上昇傾向を示した。

#### キ. 微小粒子状物質 (PM2.5)

国設松江ではベータ線吸収法・光散乱法ハイブリッドにより、国設松江を除く測定局ではベータ線吸収法により測定した。

年平均値は8.5～11.8μg/m<sup>3</sup>、日平均値の年間98%値は21.3～27.2μg/m<sup>3</sup>であり、全ての測定局で短期的および長期的評価による環境基準を達成していた。

### 3. 自動車排出ガス測定局における常時監視の状況

#### ア. 窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)

化学発光法により測定した。二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) について、年平均値は0.006ppm、日平均値の98%値は0.015ppmであり、環境基準を達成していた。なお、窒素酸化物に占める二酸化窒素の割合は73.2%であった。

年平均値の経年変化は、一酸化窒素 (NO) 、二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) とともに、減少傾向を示した。

#### イ. 一酸化炭素 (CO)

非分散型赤外分析計法により測定した。年平均値は0.3ppm、日平均値の最高値は0.6ppm、日平均値の2%除外値は0.5ppm、1時間値の8時間平均値はいずれも20ppm以下であり、短期的および長期的評価による環境基準を達成していた。

年平均値の経年変化は、減少傾向を示した。

#### ウ. 浮遊粒子状物質 (SPM)

ベータ線吸収法により測定した。年平均値は0.016mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.077mg/m<sup>3</sup>、日平均値の最高値は0.041mg/m<sup>3</sup>、日平均値の2%除外値は0.036mg/m<sup>3</sup>であり、短期的および長期的評価による環境基準を達成していた。

年平均値は減少傾向を示した。

### 4. 微小粒子状物質 (PM2.5) 成分分析結果

平成25年度秋季からPM2.5の成分分析を開始した。令和元年度の調査地点は国設隱岐(国設隱岐酸性雨測定所敷地内)、浜田合庁(浜田合同庁舎一般環境大気測定局屋上)の2地点である。成分分析結果の概要を以下に示す。

#### ア. PM2.5質量濃度

春季から冬季の平均値は、国設隱岐で7.3~12.0μg/m<sup>3</sup>、浜田合庁で8.8~15.0μg/m<sup>3</sup>であり、地点間では、すべての季節で国設隱岐より浜田合庁が高かった。

#### イ. 成分割合

各季節のPM2.5に含まれる成分は、硫酸イオン (SO<sub>4</sub><sup>2-</sup>) 、アンモニウムイオン (NH<sub>4</sub><sup>+</sup>) 及び有機炭素 (OC) の割合が高く、SO<sub>4</sub><sup>2-</sup>は国設隱岐で20~34%、浜田合庁で17~28%、NH<sub>4</sub><sup>+</sup>は国設隱岐で6~10%、浜田合庁で6~9%、OCは国設隱岐で9~31%、浜田合庁で14~22%であった。また、Other (無機元素及び不明分) の成分の割合も高かった。

## 5. 有害大気汚染物質による汚染状況

平成9年度から健康リスクが高いと考えられる優先取組物質の調査を実施している。

令和元年度は、全4地点でモニタリングを行ったが、環境基準が設定されている4物質（ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びジクロロメタン）については、いずれの調査地点も基準を下回っていた。健康リスクの低減を図るための指針値が設定されている物質（アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、水銀及びその化合物、ニッケル化合物、ヒ素及びその化合物、1,3-ブタジエン、マンガン及びその化合物）についても、いずれの調査地点も指針値以下であった。

また、ニッケル化合物については、個別の物質によって健康リスクが異なると思われるが、現時点では、個別の物質ごとに選択して測定を実施することが困難であるため、ニッケル及びその化合物の全量を測定することとしている。

## 6. 酸性雨の県内状況

島根県における酸性雨の地域分布や長期変動の実態把握およびその酸性化機構を解明するために、平成9年度から降水時開放型捕集装置（Wet-Only 採取装置）を用いて調査をしている。調査地点は、県東部都市部の松江市（保健環境科学研究所敷地内）、県西部都市部の江津市（江津一般環境大気測定局屋上）の2地点である。松江市は原則1週間単位、江津市は2週間単位で実施した。

測定項目は、pH、電気伝導度（EC）、硫酸イオン（ $\text{SO}_4^{2-}$ ）、硝酸イオン（ $\text{NO}_3^-$ ）、塩化物イオン（ $\text{Cl}^-$ ）、アンモニウムイオン（ $\text{NH}_4^+$ ）、カルシウムイオン（ $\text{Ca}^{2+}$ ）、マグネシウムイオン（ $\text{Mg}^{2+}$ ）、カリウムイオン（ $\text{K}^+$ ）、ナトリウムイオン（ $\text{Na}^+$ ）である。各項目の測定は、pHはガラス電極法、ECは電気伝導度法、それ以外の各イオン成分はイオンクロマトグラフ法により行った。降水量は試料量から算出した。

降水量、pH並びに主要イオン成分（ $\text{nss-SO}_4^{2-}$ 、 $\text{NO}_3^-$ 、 $\text{NH}_4^+$ 、 $\text{nss-Ca}^{2+}$ ）の調査結果概要を以下に示す。

### ア. 降水量

年平均降水量は松江市：1,710 mm、江津市：1,327 mmであった。

松江市においては平年並みであったが、江津市は平年より少なかった。月別では松江市は5、11月、江津市では5、9、11月が平年よりかなり少なかった。また、江津市は8月が平年よりかなり多かった。

### イ. pH

年平均値は松江市：4.70、江津市：4.66で、平成18年度以降は2地点ともに横ばいであるが、近年はやや上昇傾向にある。しかし今年度は2地点ともにやや低下した。 $\text{pH}$ は、2地点ともに10月から2月にかけて低下する傾向にあった。

### ウ. 主要イオン成分

nss-は非海塩性成分であり、 $\text{Na}^+$ を海塩指標成分として海塩由来を補正したものである。なお、降水中の  $\text{Cl}^-/\text{Na}^+$  当量比は松江市 1.17、江津市 1.19 で、ともに海水中の比 1.18 に概ね一致していた。

#### 〈非海塩性硫酸イオン (nss- $\text{SO}_4^{2-}$ )〉

年平均濃度は、松江市 :  $12.4\mu\text{mol/L}$ 、江津市 :  $13.5\mu\text{mol/L}$  で、年間沈着量は、松江市 :  $21.3\text{mmol/m}^2$ 、江津市 :  $17.9\text{mmol/m}^2$  であった。平成 19 年度までは増加傾向、それ以降は低下傾向を示している。

酸性成分である nss- $\text{SO}_4^{2-}$  濃度は、冬期に高く夏期は低い季節変動を示した。松江市、江津市とともに 5 月～10 月が低く、11 月が最も高かった。

#### 〈硝酸イオン ( $\text{NO}_3^-$ )〉

年平均濃度は、松江市 :  $19.7\mu\text{mol/L}$ 、江津市 :  $19.1\mu\text{mol/L}$  で、年間沈着量は、松江市 :  $33.7\text{mmol/m}^2$ 、江津市 :  $25.4\text{mmol/m}^2$  であった。平成 18 年度までは増加傾向、それ以降は増減しながら低下傾向を示している。

$\text{NO}_3^-$  濃度は nss- $\text{SO}_4^{2-}$  と類似した季節変動を示し、冬期に高く夏期は低い値であった。また松江市、江津市ともに nss- $\text{SO}_4^{2-}$  と同様に 5 月～10 月が低く、11 月が最も高かった。

$\text{NO}_3^-$  と nss- $\text{SO}_4^{2-}$  の当量比 ( $\text{NO}_3^-/\text{nss-}\text{SO}_4^{2-}$ ) は松江市 : 0.79、江津市 0.71 で降水の酸性化への寄与は 2 地点ともに nss- $\text{SO}_4^{2-}$  の方が大きかった。

#### 〈アンモニウムイオン ( $\text{NH}_4^+$ )〉

年平均濃度は、松江市 :  $16.2\mu\text{mol/L}$ 、江津市 :  $16.1\mu\text{mol/L}$  で、年間沈着量は、松江市 :  $27.8\text{mmol/m}^2$ 、江津市 :  $21.4\text{mmol/m}^2$  であった。平成 18 年度以降、増減しながら低下傾向を示している。

塩基性成分である  $\text{NH}_4^+$  濃度は、酸性成分と類似した季節変動を示した。

#### 〈非海塩性カルシウムイオン (nss- $\text{Ca}^{2+}$ )〉

年平均濃度は、松江市 :  $2.6\mu\text{mol/L}$ 、江津市 :  $2.4\mu\text{mol/L}$  で、年間沈着量は、松江市 :  $4.5\text{mmol/m}^2$ 、江津市 :  $3.2\text{mmol/m}^2$  であった。平成 19 年度以降、増減しながら低下傾向を示している。

$\text{NH}_4^+$  と同様に塩基性成分である nss- $\text{Ca}^{2+}$  濃度は、 $\text{NH}_4^+$  と類似した季節変動を示した。

## II. 測定地点および測定項目

# 1. 大気汚染常時監視測定

大気汚染防止法第22条第1項に基づき、一般環境大気汚染測定局8局及び自動車排出ガス測定局1局の測定データをテレメータシステムにより集中管理し、大気汚染状況の常時監視を行った。

## (1) 島根県内大気常時監視測定局一覧

No.	略称(8文字)	正式名称	設置年月	設置主体	区分	所在地・場所等
1	国設松江	国設松江大気環境測定所	S55. 04	国	一般	松江市西浜佐陀町582-1 島根県保健環境科学研究所敷地内
2	安来	安来一般環境大気測定局	H12. 03	県	一般	安来市安来町八幡582-1
3	雲南合庁	雲南合同庁舎一般環境大気測定局	H25. 07	県	一般	雲南市木次町里方531-1 雲南合同庁舎敷地内
4	出雲保健所	出雲保健所一般環境大気測定局	H11. 03	県	一般	出雲市塩冶町223-1 出雲保健所敷地内
5	大田	大田一般環境大気測定局	H13. 03	県	一般	大田市大田町大田若宮497-6
6	江津市役所	江津市役所一般環境大気測定局	S58. 03	県	一般	江津市江津町1525 江津市役所敷地内
7	浜田合庁	浜田合同庁舎一般環境大気測定局	H08. 03	県	一般	浜田市片庭町254 浜田合同庁舎敷地内
8	益田合庁	益田合同庁舎一般環境大気測定局	H08. 03	県	一般	益田市昭和町13-1 益田合同庁舎前庭
9	西津田自排	西津田自動車排出ガス測定局	S58. 03	松江市	自排	松江市津田町343-4 西津田交差点北西角

※大田局は平成19年4月に大田市長久町長久333-50から移設

※平成30年度より国設松江局及び西津田自排局の維持管理は松江市が実施

## (2) 一般環境大気測定局の位置・測定項目

測定局	位 置			測 定 項 目									
	北緯(分)(秒)	東経(分)(秒)	標高(m)	SO <sub>2</sub>	NOx	CO	O <sub>x</sub>	SPM	NMHC	CH <sub>4</sub>	PM2.5	風	温湿
国設松江	35 28 29	133 00 47	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安 来	35 25 07	133 14 31	2	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○
雲南合庁	35 18 32	132 54 02	40	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○
出雲保健所	35 20 49	132 45 04	10	-	○	-	○	○	-	-	○	○	○
大 田	35 11 32	132 30 37	18	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○
江津市役所	35 00 42	132 13 20	22	○	○	-	○	○	-	-	○	○	○
浜田合庁	34 53 50	132 04 17	5	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○
益田合庁	34 40 38	131 51 02	5	○	○	-	○	○	-	-	○	○	○

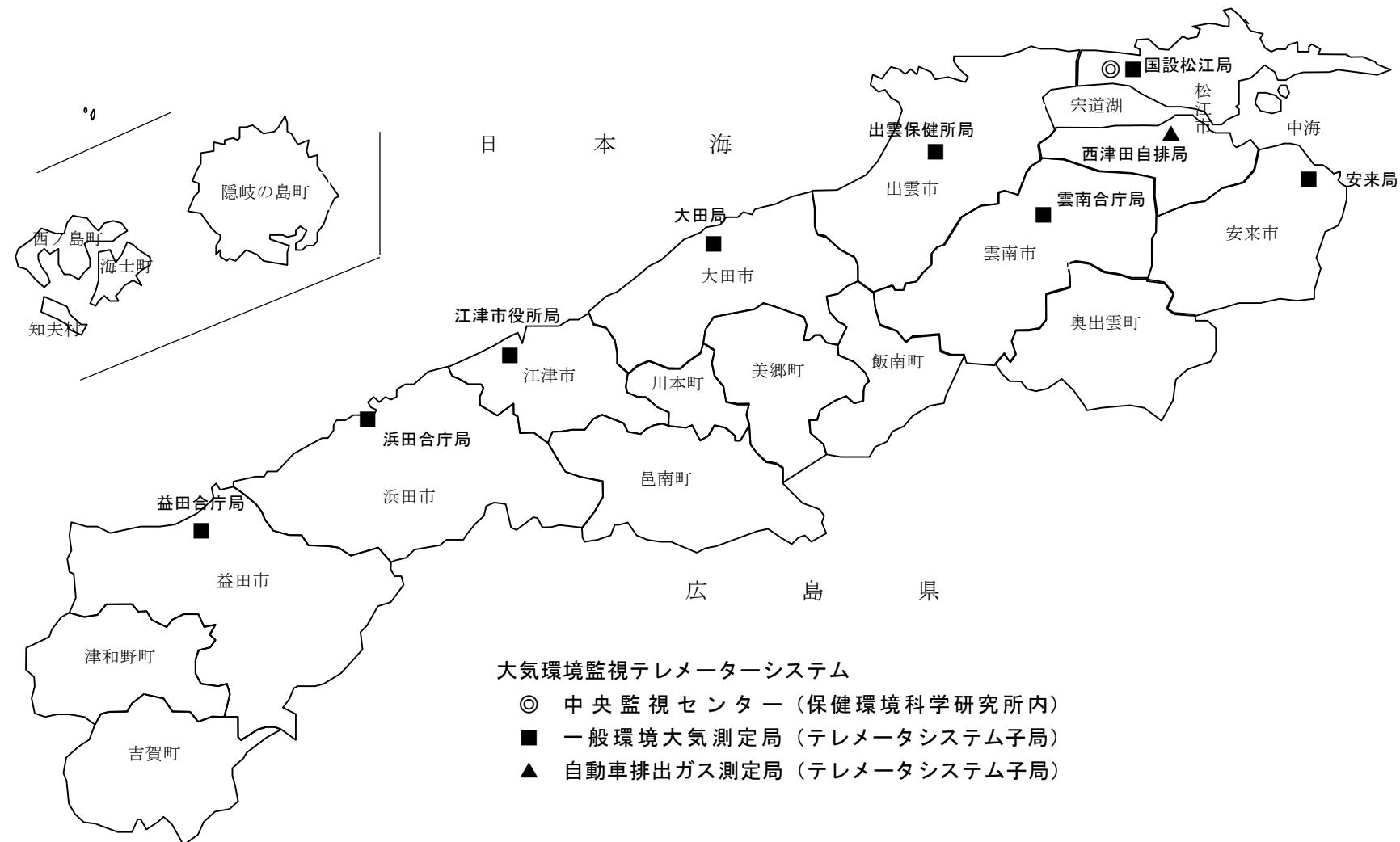
※緯度・経度は世界測地系(WGS84)による

## (3) 自動車排出ガス測定局の位置・測定項目

測定局	位 置			測 定 項 目									
	北緯(分)(秒)	東経(分)(秒)	標高(m)	SO <sub>2</sub>	NOx	CO	O <sub>x</sub>	SPM	NMHC	CH <sub>4</sub>	風	温度	湿度
西津田自排	35 27 34	133 03 58	5	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-

※緯度・経度は世界測地系(WGS84)による

(4) 大気汚染常時監視測定局分布図



## 2. 微小粒子状物質（PM2.5）成分分析

大気汚染防止法第22条第1項に基づき、国設隱岐酸性雨測定所及び浜田合同庁舎一般環境大気測定局において、PM2.5の成分分析を行った。

### （1）調査地点

番号	略称	調査地点	所在地・場所等
①	国設隱岐	国設隱岐酸性雨測定所	隱岐郡隱岐の島町北方福浦1700
②	浜田合庁	浜田合同庁舎一般環境 大気測定局	浜田市片庭町254 浜田合同庁舎敷地内

### （2）調査期間

季節	期間
春季	2019年 5月 8日（水）～5月22日（水）
夏季	2019年 7月18日（木）～8月 1日（木）
秋季	2019年10月17日（木）～10月31日（木）
冬季	2020年 1月16日（木）～1月30日（木）

### （3）測定項目

調査地点	測定項目			
	質量濃度 ※1	イオン成分 ※2	無機元素成分 ※3	炭素成分 ※4
国設隱岐	○	○	○	○
浜田合庁	○	○	○	○

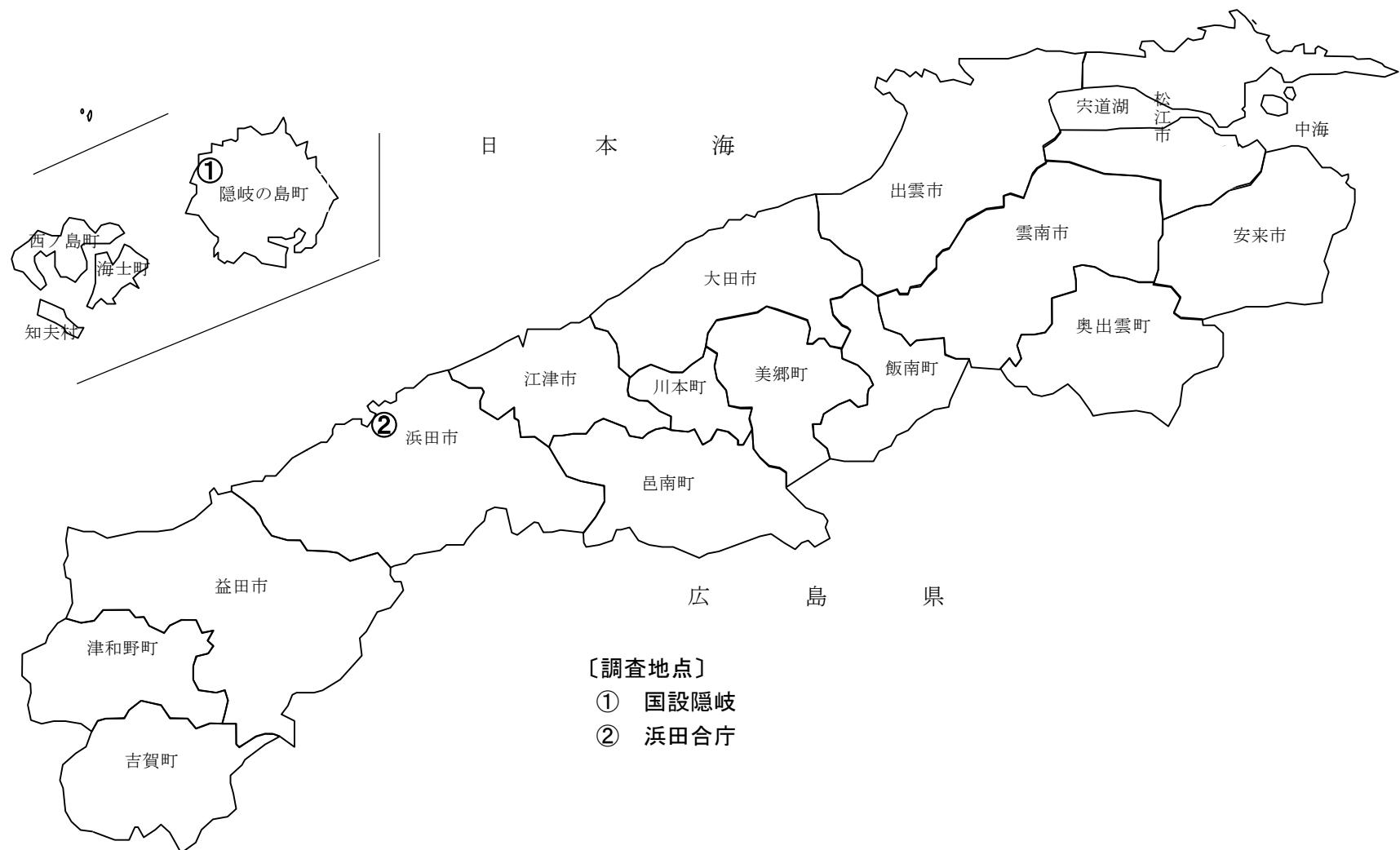
※1 質量濃度は、フィルター捕集-質量法（標準測定法）との等価性が認められた自動測定機により得られた測定値を使用。

※2 イオンクロマトグラフ法により、Cl<sup>-</sup>、NO<sub>3</sub><sup>-</sup>、SO<sub>4</sub><sup>2-</sup>、Na<sup>+</sup>、NH<sub>4</sub><sup>+</sup>、K<sup>+</sup>、Mg<sup>2+</sup>及びCa<sup>2+</sup>を測定。

※3 酸分解／ICP-MS法により、Be、Na、Mg、Al、K、Ca、Sc、Ti、V、Cr、Mn、Fe、Co、Ni、Cu、Zn、As、Se、Rb、Mo、Cd、Sb、Cs、Ba、La、Ce、Sm、Hf、W、Ta、Th及びPbを測定。

※4 サーマルオプテカル・リフレクタンス法により、有機炭素（OC）及び元素状炭素（EC）を測定。

(4) PM2.5 成分分析調査地点分布図



### 3. 有害大気汚染物質測定

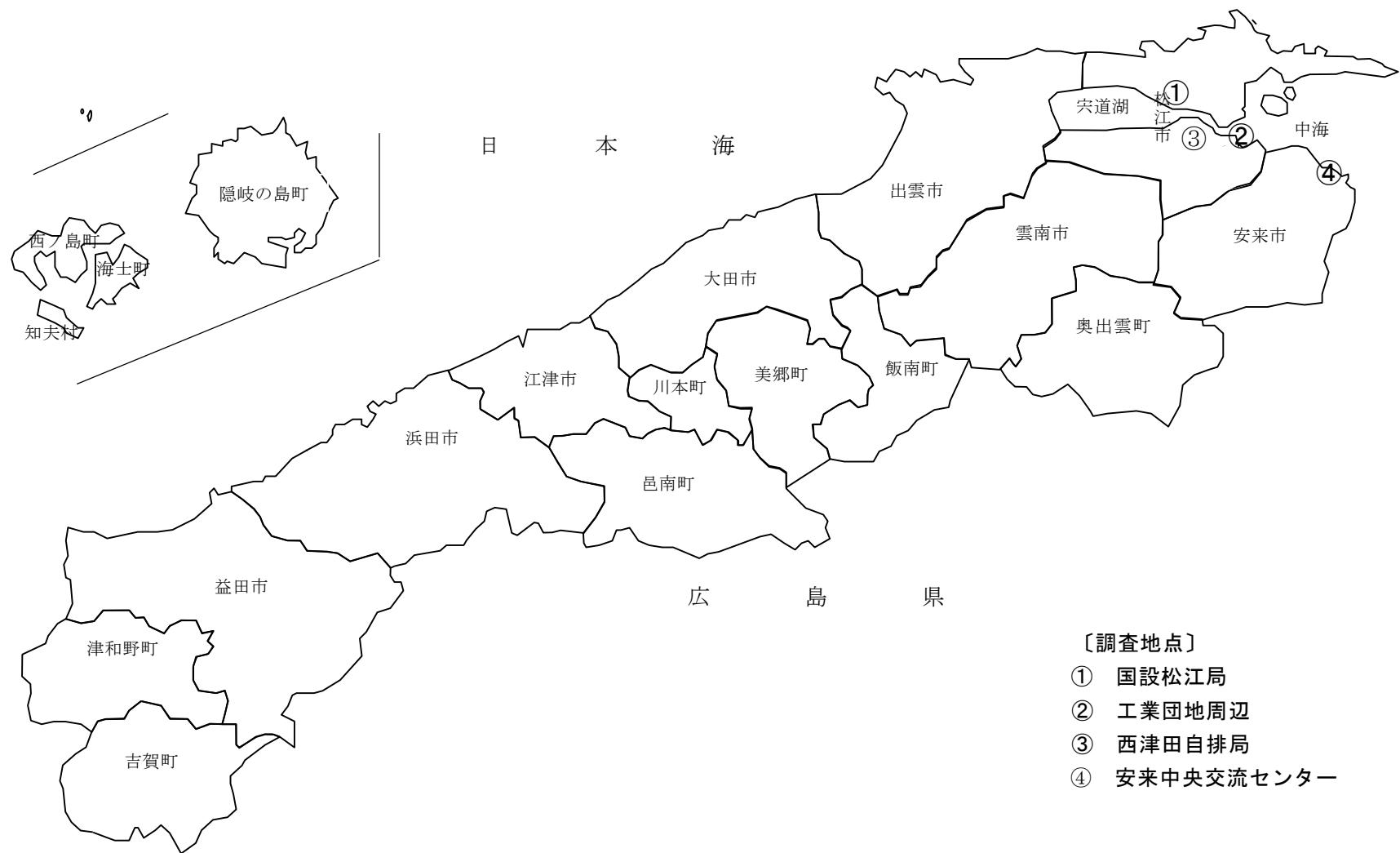
大気汚染防止法第18条の44に基づき、長期間の暴露による健康影響が懸念される有害大気汚染物質を測定した。

#### (1) 調査地点および測定項目

測定項目	地点名	①	②	③	④
		国設松江大気 環境測定所	馬潟工業団地 周辺空地	西津田自動車 排出ガス測定局	安来中央交流 センター
	松江市				
	西浜佐陀町				
ベンゼン	○	○	○	-	
トリクロロエチレン	○	○	○	-	
テトラクロロエチレン	○	○	○	-	
ジクロロメタン	○	○	○	-	
アクリロニトリル	○	○	○	-	
塩化ビニルモノマー	○	○	○	-	
クロロホルム	○	○	○	-	
1, 2-ジクロロメタン	○	○	○	-	
水銀及びその化合物	○	○	-	-	
ニッケル化合物	○	○	-	○	
ヒ素及びその化合物	○	○	-	○	
1, 3-ブタジエン	○	○	○	-	
アセトアルデヒド	○	○	○	-	
塩化メチル	○	○	○	-	
クロム及びその化合物	○	○	-	○	
トルエン	○	○	○	-	
ベリリウム及びその化合物	○	○	-	○	
ベンゾ[a]ピレン	○	○	○	-	
ホルムアルデヒド	○	○	○	-	
マンガン及びその化合物	○	○	-	○	

※平成30年度より①, ②及び③地点における測定は松江市が実施

(2) 有害大気汚染物質調査地点分布図



## 4. 酸性雨測定

平成9年度から県内2地点において降水時開放型捕集装置(Wet-Only採取装置)を用いて降水の成分調査をおこなっている。

### (1) 調査地点

番号	略称	調査地点	所在地・場所等
①	国設松江	国設松江大気環境測定所 島根県保健環境科学研究所敷地内	松江市西浜佐陀町582-1
②	江津市役所	江津一般環境大気測定局 屋上	江津市江津町1525 江津市役所敷地内

※平成17年度までは川本町：旧川本健康福祉センター屋上でも実施

### (2) 測定項目

- ・降水量
- ・pH
- ・イオン成分

※イオンクロマトグラフ法により、nss-SO<sub>4</sub><sup>2-</sup>、NO<sub>3</sub><sup>-</sup>、NH<sub>4</sub><sup>+</sup>、nss-Ca<sup>2+</sup>を測定。

### (3) 酸性雨調査地点分布図



### III. 大気の汚染に係る環境基準等

# 1. 大気汚染常時監視測定に係る環境基準

## (1) 環境基準

環境基本法第16条第1項の規定に基づき、昭和48年環境庁告示第25号（二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント）、昭和53年環境庁告示第38号及び平成21年環境省告示第33号により定められている。

物質名	環境上の条件
二酸化硫黄	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
一酸化炭素	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppm以下であること。
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。
微小粒子状物質(PM2.5)	1年平均値が15μg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m <sup>3</sup> 以下であること。

### 〔備 考〕

- 1 浮遊粒子状物質とは、大気中に浮遊する粒子状物質であって、その粒径が10μm以下のものをいう。
- 2 微小粒子状物質(PM2.5)とは、大気中に浮遊する粒子状物質であって、粒径が2.5μmの粒子を50%の割合で分離できる分粒装置を用いて、より粒径の大きい粒子を除去した後に採取される粒子をいう。
- 3 光化学オキシダントとは、オゾン、パーオキシアセチルナイトレートその他の光化学反応により生成される酸化性物質（中性ヨウ化カリウム溶液からヨウ素を遊離するものに限り、二酸化窒素を除く。）をいう。
- 4 この環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域又は場所については適用しない。

## (2) 評価方法

環境基準による大気汚染の評価については、次のように取り扱うこととされている。

物 質 名	環 境 基 準 に よ る 評 価 方 法	
二酸化硫黄	短期的評価	連続して又は隨時に行った測定について、1時間値が0.1ppm以下で、かつ、1時間値の日平均値が0.04ppm以下であれば環境基準達成であるが、1時間値、日平均値のどちらか一方が、基準を超えると環境基準非達成である。
	長期的評価	年間の日平均値の2%除外値が0.04ppm以下であれば環境基準達成であるが、0.04ppmを超えると環境基準非達成である。ただし、日平均値が0.04ppmを超える日が2日以上連続したときは、上記に關係なく環境基準非達成である。
二酸化窒素		日平均値の年間98%値が0.06ppm以下であれば環境基準達成であるが、0.06ppmを超えると環境基準非達成である。
一酸化炭素	短期的評価	連続して又は隨時に行った測定について、1時間値の8時間平均値（1日の8時間ごとの3区分した時の各区分の平均値）が20ppm以下で、かつ、1時間値の日平均値が10ppm以下であれば環境基準達成であるが、8時間値、日平均値のどちらか一方が基準を超えると環境基準非達成である。
	長期的評価	年間の日平均値の2%除外値が10ppm以下であれば環境基準達成であるが、10ppmを超えると環境基準非達成である。ただし、日平均値が10ppmを超える日が2日以上連続したときは、上記に關係なく環境基準非達成である。
光化学オキシダント		昼間（5～20時）の時間帯において、1時間値が0.06ppm以下であれば環境基準達成であるが、0.06ppmを超えると環境基準非達成である。
浮遊粒子状物質	短期的評価	連続して又は隨時に行った測定について、1時間値が0.2mg/m <sup>3</sup> 以下で、かつ、1時間値の日平均値が0.1mg/m <sup>3</sup> 以下であれば環境基準達成であるが、1時間値、日平均値のどちらか一方が基準を超えると環境基準非達成である。
	長期的評価	年間の日平均値の2%除外値が0.1mg/m <sup>3</sup> 以下であれば環境基準達成であるが、0.1mg/m <sup>3</sup> を超えると環境基準非達成である。ただし、日平均値が0.1mg/m <sup>3</sup> を超える日が2日以上連続したときは、上記に關係なく環境基準非達成である。
微小粒子状物質 (PM2.5)	短期的評価	連続して又は隨時に行った測定について、日平均値の年間98パーセンタイル値が35 μg/m <sup>3</sup> 以下であれば環境基準達成である。
	長期的評価	1年平均値が15 μg/m <sup>3</sup> 以下であれば環境基準達成である。

[備考]

- 1 短期的評価は、連続して又は隨時に行った測定結果により、測定を行った日又は時間について評価する。
- 2 長期的評価は、大気汚染に対する施策の効果を的確に判断するため、年間にわたる測定結果を長期に観察し、次の方法によって行う。1日平均値である測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値（日平均値の2%除外値）で評価する。ただし、1日平均値につき環境基準を超える日が2日以上連続した場合は、このような取扱いはない。
- 3 日平均値の2%除外値とは、1年間に得られた日平均値を整理し、数値の高い方から2%の範囲にあるもの（365日分の日平均値を得られた場合は、 $365 \times 0.02 = 7$ 日分）を除外した残りの日平均値の最高値をいう（高い方から8番目の値）。
- 4 日平均値の年間98%値とは、1年間の日平均値を数値の低い方から並べて98%に相当するもの（365日分の日平均値が得られた場合は、 $365 \times 0.98 = 358$ 番目の値）をいう。
- 5 日平均値の評価に当たっては、1時間値の欠測が、1日（24時間）のうち4時間を超える場合は評価対象としない。したがって、20時間以上測定された日のみを対象として、有効測定日という。
- 6 年間にわたって長期的に評価する場合、年間の測定時間が6,000時間以上の測定局を対象として、有効測定局という。
- 7 光化学オキシダントの環境基準による評価は、昼間（5時～20時）の1時間値で行う。これは、光化学反応によるオキシダント生成が、主に日射のある昼間の時間帯であることによる。

(3) 大気中炭化水素濃度の指針

炭化水素は窒素酸化物とともに光化学スモッグの原因物質であることから「光化学オキシダント生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針」（昭和51年8月13日中央公害対策審議会答申）が次のとおり示されている。

光化学オキシダント生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針

物 質	非 メ タ ン 炭 化 水 素
指針値	光化学オキシダントの日最高1時間値0.06ppmに対応する午前6時から9時までの非メタン炭化水素の3時間平均値は0.20ppmCから0.31ppmCの範囲に相当する。（ppmC：メタン換算した濃度）

## 2. 有害大気汚染物質測定に係る環境基準と指針値

### (1) ベンゼン等に係る環境基準

環境基本法第16条第1項の規定に基づき、平成9年環境庁告示第4号（ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン）及び平成13年環境省告示第30号（ジクロロメタン）により定められている。

物質名	環境上の条件
ベンゼン	1年平均値が $3\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
トリクロロエチレン	1年平均値が $130\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
テトラクロロエチレン	1年平均値が $200\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
ジクロロメタン	1年平均値が $150\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

#### [備 考]

この環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域又は場所については適用しない。

※トリクロロエチレンは、平成30年11月19日告示により $200\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下から $130\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下に改正。

### (2) その他の物質に係る指針値

中央環境審議会の答申「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について」に基づき、環境目標値の一つとして、指針値が設定されている。

指針値とは、有害性評価に係るデータの科学的信頼性において制約がある場合も含めて検討された、環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るために指針となる数値であり、現に行われている大気モニタリングの評価にあたっての指標や事業者による排出抑制努力の指標としての機能を果たすことが期待されるものである。

物質名	指針値
アクリロニトリル	1年の平均値が $2\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
塩化ビニルモノマー	1年の平均値が $10\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
クロロホルム	1年の平均値が $18\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
1, 2-ジクロロエタン	1年の平均値が $1.6\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
水銀	1年の平均値が $40\text{ ng Hg}/\text{m}^3$ 以下であること。
ニッケル化合物	1年の平均値が $25\text{ ng Ni}/\text{m}^3$ 以下であること。
ヒ素及びその化合物	1年の平均値が $6\text{ ng As}/\text{m}^3$ 以下であること。
1, 3-ブタジエン	1年の平均値が $2.5\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
マンガン及び無機マンガン化合物	1年の平均値が $0.14\text{ }\mu\text{g Mn}/\text{m}^3$ 以下であること。

#### [備 考]

この指針値は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域又は場所については適用しない。

## IV. 大氣汚染常時監視測定期局測定結果

## 凡例

〈用途地域〉 都市計画法第8条に定める地域の用途区分であって、「住」「商」等の略称は次のことを意味する。

住：第1種住居専用地域、第2種住居専用地域又は住居地域

商：近隣商業地域又は商業地域

未：未指定又は無指定地域

〈有効測定時間〉 年間測定時間が6,000時間以上の場合をいう。

〈有効測定日数〉 1日20時間以上1時間値が測定された日数をいう。

〈日平均値の2%除外値〉 年間にわたる1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるもの（365日分の測定値がある場合は7日分の測定値）を除外した値。除外する日数は小数点以下を四捨五入した日数である。

〈日平均値の年間98%値〉 年間にわたる日平均値につき、測定値の低い方から98%に相当するものである。なお、低い方から98%に当たる測定日は、小数点以下を四捨五入して算出する。

〈環境基準の長期的評価による日平均値〇〇ppmを超えた日数〉 日平均値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した後の日平均値が環境基準0.04ppm（二酸化硫黄の場合）を超えた日数である。ただし、1日平均値につき環境基準を超える日が2日以上連續した場合には、2%除外該当日に入っている日数分については除外していない。

〈98%値評価による日平均値0.06ppmを超えた日数〉 1年間の日平均値のうち低い方から98%の範囲にあって、かつ0.06ppmを超えた日数である。

## ○汚染物質の測定方法

## 1. 年間値測定結果

### (1) 二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>:年間値)

松江市、益田市の測定局は短期的および長期的評価による環境基準を達成したが、  
江津市の測定局では、1時間値で0.1ppmを越えた時間があり短期的評価での環境基準を達成しなかった。

期間: 平成31年4月～令和2年3月

種別	市町村	測定局	令別表 第3の 区分	用途 地域	有効 測定 日数	測定 時間	年平均値	1時間値が0.1ppmを 超えた時間数とその割合		日平均が0.04ppmを 超えた日数とその割合		1時間値の 最高値	日平均値の 2%除外値	日平均値が 0.04ppmを 超えた日が 2日以上 連続した ことの有無	環境基準の 長期的評価 による 日平均値が 0.04ppmを 超えた日数	
								(日)	(時間)	(ppm)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(ppm)
一般 環境	松江市	国設松江	100	未	360	8618	0.001	0	0.0	0	0.0	0.0	0.030	0.002	無	0
	江津市	江津市役所	100	住	364	8700	0.001	1	0.0	0	0.0	0.0	0.127	0.007	無	0
	益田市	益田合庁	100	住	361	8640	0.001	0	0.0	0	0.0	0.0	0.026	0.002	無	0

[短期的評価方法] 1時間値が0.1ppm以下であり、かつ日平均値が0.04ppm以下であれば環境基準達成

[長期的評価方法] 日平均値の2%除外値が0.04ppm以下であり、かつ日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続していなければ環境基準達成

(2)一酸化窒素、二酸化窒素及び窒素酸化物(NO、NO<sub>2</sub>、NO+NO<sub>2</sub>:年間値)

環境基準の設定されている二酸化窒素は、全ての測定局で環境基準を達成した。

期間:平成31年4月～令和2年3月

種別	市町村	測定局	令別表第3の区分	用途地域	一酸化窒素 (NO)					二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )										窒素酸化物 (NO+NO <sub>2</sub> )							
					有効測定日数	測定時間	年平均値	の1最高間値	年間98%値の値	有効測定日数	測定時間	年平均値	の1最高間値	1時間間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合	1時間間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数とその割合	日平均値が0.04ppm以上0.06ppmを超えた日数とその割合	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合	98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数	日平均値の年間98%値	有効測定日数	測定時間	年平均値	の1最高間値	年間98%値の値	年平均値NO2/(NO+N <sub>2</sub> O <sub>2</sub> )		
					(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(時間)	(%)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(%)	(ppm)	(%)		
一般環境	松江市	国設松江	100	未	351	8525	0.000	0.017	0.001	351	8525	0.002	0.023	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.006	0	351	8525	0.003	0.033	0.007	91.6
	出雲市	出雲保健所	100	住	356	8575	0.000	0.029	0.002	356	8575	0.002	0.019	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.005	0	356	8575	0.003	0.045	0.007	86.7
	江津市	江津市役所	100	住	353	8462	0.001	0.029	0.002	353	8462	0.003	0.026	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.005	0	353	8461	0.003	0.039	0.006	80.8
	益田市	益田合庁	100	住	359	8516	0.000	0.039	0.001	359	8516	0.002	0.032	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.004	0	359	8516	0.002	0.071	0.005	83.6
排出自動車	松江市	西津田自排	100	商	364	8698	0.002	0.080	0.010	364	8698	0.006	0.037	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.015	0	364	8698	0.009	0.101	0.024	73.2

[二酸化窒素の評価方法] 日平均値の年間98%値が0.06ppm以下であれば環境基準達成

(3)一酸化炭素(CO:年間値)

全ての測定局で短期的および長期的評価による環境基準を達成した。

期間:平成31年4月～令和2年3月

種別	市町村	測定局	用途地域	有効測定日数	測定時間	年平均値	8時間値が20ppmを超えた回数とその割合		日平均値が10ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連續したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が10ppmを超えた日数	1時間値が30ppm以上となったことがある日数	
							(日)	(時間)	(ppm)	(回)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(ppm)	(日)
一般環境	松江市	国設松江	未	364	8700	0.2	0	0.0	0	0.0	0.0	0.6	0.3	無	0	0
排出自動車ガス	松江市	西津田自排	商	364	8713	0.3	0	0.0	0	0.0	0.0	1.1	0.5	無	0	0

[短期的評価方法] 1時間値の8時間平均値が20ppm以下であり、かつ日平均値が10ppm以下であれば環境基準達成

[長期的評価方法] 日平均値の2%除外値が10ppm以下であり、かつ日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連續していなければ環境基準達成

(4)光化学オキシダント(O<sub>x</sub>:年間値)

いずれの測定局も環境基準を達成しなかった。

期間:平成31年4月～令和2年3月

種別	市町村	測定局	用途地域	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値の年平均値	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数と時間数		昼間の1時間値の最高値	昼間の日最高1時間値の年平均値
							(日)	(時間)	(ppm)	(日)	(時間)	(日)
一般環境	松江市	国設松江	未	366	5423	0.038	62	472	1	3	0.134	0.049
	安来市	安来	住	366	5442	0.037	61	387	1	2	0.121	0.048
	雲南市	雲南合庁	準工	366	5439	0.033	57	418	1	2	0.131	0.048
	出雲市	出雲保健所	住	366	5426	0.038	64	498	1	3	0.130	0.050
	大田市	大田	住	366	5448	0.036	55	380	1	3	0.144	0.048
	江津市	江津市役所	住	366	5425	0.041	75	481	1	3	0.136	0.051
	浜田市	浜田合庁	商	365	5406	0.041	79	568	1	4	0.140	0.052
	益田市	益田合庁	住	366	5417	0.036	66	456	1	5	0.138	0.049

[評価方法] 昼間(5～20)の時間帯において、1時間値が0.06ppm以下であれば環境基準達成

(5) 浮遊粒子状物質(SPM: 年間値)

全ての測定局で短期的および長期的評価による環境基準を達成した。

期間: 平成31年4月～令和2年3月

種別	市町村	測定局	用途地域	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> を 超えた時間数 とその割合		日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を 超えた日数 とその割合		1時間値 の最高値	日平均値の 2%除外値	日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を 超えた日が 2日以上 連続した ことの有無	環境基準の 長期的評価 による日平 均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を 超えた日数	
							(日)	(時間)	(mg/m <sup>3</sup> )	(時間)	(%)	(日)	(%)	(mg/m <sup>3</sup> )	(mg/m <sup>3</sup> )
一般環境	松江市	国設松江	未	344	8476	0.013	0	0.0	0	0.0	0.0	0.061	0.029	無	0
	安来市	安来	住	364	8728	0.013	0	0.0	0	0.0	0.0	0.067	0.033	無	0
	出雲市	出雲保健所	住	365	8748	0.010	0	0.0	0	0.0	0.0	0.064	0.029	無	0
	大田市	大田	住	363	8693	0.012	0	0.0	0	0.0	0.0	0.112	0.034	無	0
	江津市	江津市役所	住	363	8678	0.013	0	0.0	0	0.0	0.0	0.082	0.036	無	0
	浜田市	浜田合庁	商	317	8209	0.013	0	0.0	0	0.0	0.0	0.088	0.033	無	0
	益田市	益田合庁	住	351	8422	0.014	0	0.0	0	0.0	0.0	0.078	0.033	無	0
ガス自動車	松江市	西津田自排	商	364	8740	0.016	0	0.0	0	0.0	0.0	0.077	0.036	無	0

[短期的評価方法] 1時間値が $0.2\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ日平均値が $0.1\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であれば環境基準達成

[長期的評価方法] 日平均値の2%除外値が $0.1\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ日平均値が $0.1\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日が2日以上連続していなければ環境基準達成

(6) 非メタン、メタン及び全炭化水素

○ 非メタン炭化水素(NMHC:年間値)

期間: 平成31年4月～令和2年3月

種別	市町村	測定局	用途地域	測定時間	年平均値	6～9時における年平均値	6～9時測定日数	6～9時3時間平均値		6～9時3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数とその割合		6～9時3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数とその割合	
								最高値	最低値	(日)	(%)	(日)	(%)
								(時間)	(ppmC)	(ppmC)	(日)	(%)	(%)
一般環境	松江市	国設松江	未	8322	0.04	0.04	359	0.10	0	0	0.0	0	0.0

○ メタン及び全炭化水素(CH<sub>4</sub>及びT-HC:年間値)

期間: 平成31年4月～令和2年3月

種別	市町村	測定局	用途地域	メタン						全炭化水素					
				測定時間	年平均値	6～9時における年平均値	6～9時測定日数	6～9時3時間平均値		測定時間	年平均値	6～9時における年平均値	6～9時測定日数	6～9時3時間平均値	
								最高値	最低値						
(時間)	(ppmC)	(ppmC)	(日)	(ppmC)	(ppmC)	(日)	(時間)	(ppmC)	(ppmC)	(日)	(ppmC)	(ppmC)	(日)	(ppmC)	
一般環境	松江市	国設松江	未	8322	1.94	1.95	359	2.69	1.76	8322	1.98	1.99	359	2.74	1.77

(7)微小粒子状物質(PM2.5:年間値)

全ての測定局で短期的および長期的評価による環境基準を達成した。

期間:平成31年4月～令和2年3月

種別	市町村	測定局	用途地域	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	日平均値の年間98%値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数 とその割合	
								(日)	(%)
一般環境	松江市	国設松江	未	363	8708	9.8	23.2	0	0.0
	安来市	安来	住	364	8735	9.6	22.9	0	0.0
	雲南市	雲南合庁	準工	364	8732	8.6	21.3	0	0.0
	出雲市	出雲保健所	住	364	8732	9.4	23.2	0	0.0
	大田市	大田	住	364	8722	8.8	22.5	0	0.0
	江津市	江津市役所	住	363	8716	9.2	24.3	0	0.0
	浜田市	浜田合庁	商	363	8713	11.8	27.2	1	0.3
	益田市	益田合庁	住	364	8723	8.5	24.7	0	0.0

[短期的評価方法] 日平均値の年間98パーセンタイル値が35  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であれば環境基準達成

[長期的評価方法] 1年平均値が15  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であれば環境基準達成

## (8) 風向・風速

○風向(WD:年間値)

期間:平成31年4月～令和2年3月

種別	市町村	測定局	用途 地域	有効 測定 日数	測定 時間	風向頻度																																	
						NNE		NE		ENE		E		ESE		SE		SSE		S		SSW		SW		WSW		W		WNW		NW		NNW		N		C	
						(日)	(時間)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)							
一般環境	松江市	国設松江	未	366	8774	7.8	8.4	9.1	8.8	4.3	2.9	2.9	2.3	3.2	3.2	6.6	11.3	8.8	5.7	4.9	6.0	3.9																	
	安来市	安来	住	366	8768	3.4	7.0	6.8	3.9	2.4	7.1	13.7	14.5	6.1	4.3	3.9	4.3	5.3	5.3	3.8	4.0	4.2																	
	雲南市	雲南合庁	準工	366	8756	0.7	1.0	2.6	9.0	4.3	2.9	1.5	0.7	0.6	0.6	1.4	16.7	23.0	6.1	3.7	1.0	24.2																	
	出雲市	出雲保健所	住	366	8778	4.0	21.2	4.1	2.2	17.1	14.2	2.5	2.9	2.2	3.8	5.5	9.0	5.1	1.9	1.7	1.7	1.0																	
	大田市	大田	住	366	8777	1.7	0.7	0.7	1.3	7.0	33.1	11.3	4.0	1.6	1.4	2.1	4.1	8.7	7.9	6.6	5.2	2.5																	
	江津市	江津市役所	住	366	8778	10.3	6.4	3.5	4.0	6.0	12.0	8.9	7.8	8.6	7.7	3.5	3.3	3.0	4.4	5.0	3.4	2.2																	
	浜田市	浜田合庁	商	366	8777	1.5	14.9	30.5	5.0	1.1	0.3	0.2	0.2	0.6	4.7	15.8	9.1	2.8	6.7	1.4	1.2	3.7																	
	益田市	益田合庁	住	366	8777	2.5	5.7	11.8	7.0	6.3	6.5	7.2	7.5	4.2	3.1	2.8	4.2	8.5	6.2	5.9	2.2	8.2																	

○風速(WS:年間値)

期間:平成31年4月～令和2年3月

種別	市町村	測定局	用途 地域	有効 測定 日数	測定 時間	年平均値	1時間値 の最高値		1時間値 の最低値		日平均値 の最高値		日平均値 の最低値		
							(日)	(時間)	(m/s)	(m/s)	(m/s)	(m/s)	(m/s)	(m/s)	(m/s)
一般環境	松江市	国設松江	未	366	8774	3.2	17.4	0.0	12.0	1.1					
	安来市	安来	住	366	8768	2.1	10.1	0.0	6.5	0.7					
	雲南市	雲南合庁	準工	366	8756	1.1	8.7	0.0	4.3	0.3					
	出雲市	出雲保健所	住	366	8778	2.3	11.5	0.1	6.5	1.1					
	大田市	大田	住	366	8777	2.5	9.6	0.0	5.5	0.8					
	江津市	江津市役所	住	366	8778	2.2	11.7	0.0	9.8	0.9					
	浜田市	浜田合庁	商	366	8777	1.9	12.8	0.0	6.5	0.8					
	益田市	益田合庁	住	366	8777	1.8	7.7	0.0	4.9	0.6					

(9) 温度・湿度

○温度(TEMP:年間値)

期間:平成31年4月～令和2年3月

種別	市町村	測定局	用途 地域	有効 測定 日数	測定時間	年平均値	1時間値 の最高値	1時間値 の最低値	日平均値 の最高値	日平均値 の最低値
							(日)	(時間)	(°C)	(°C)
一般 環境	松江市	国設松江	未	366	8778	16.5	38.3	-2.3	31.6	0.9
	安来市	安来	住	366	8775	15.8	36.7	-2.0	30.8	0.6
	雲南市	雲南合庁	準工	366	8778	15.6	37.6	-2.8	30.3	0.6
	出雲市	出雲保健所	住	366	8778	16.2	37.4	-1.2	30.7	1.2
	大田市	大田	住	366	8777	16.1	37.5	-1.6	30.7	1.3
	江津市	江津市役所	住	366	8778	16.9	36.3	1.0	30.2	2.5
	浜田市	浜田合庁	商	366	8777	17.0	36.0	0.9	31.4	2.7
	益田市	益田合庁	住	366	8777	16.2	35.3	-0.4	30.4	2.4

○湿度(HUM:年間値)

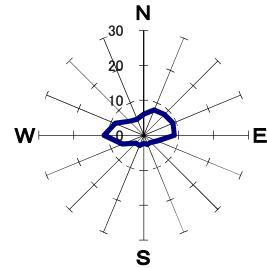
期間:平成31年4月～令和2年3月

種別	市町村	測定局	用途 地域	有効 測定 日数	測定時間	年平均値	1時間値 の最高値	1時間値 の最低値	日平均値 の最高値	日平均値 の最低値
							(日)	(時間)	(%)	(%)
一般 環境	松江市	国設松江	未	366	8778	83	100	27	99	57
	安来市	安来	住	366	8775	73	98	20	95	46
	雲南市	雲南合庁	準工	366	8778	87	100	17	99	56
	出雲市	出雲保健所	住	366	8778	75	98	18	96	44
	大田市	大田	住	329	7870	87	100	42	99	63
	江津市	江津市役所	住	366	8778	81	99	21	99	42
	浜田市	浜田合庁	商	329	7875	82	100	29	100	43
	益田市	益田合庁	住	366	8777	76	99	29	94	52

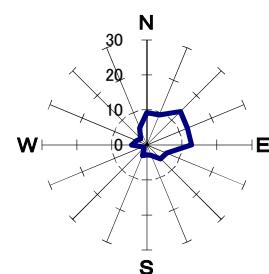
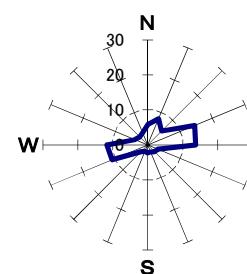
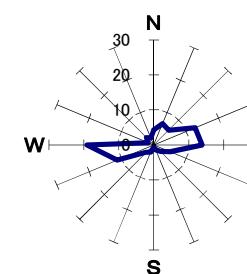
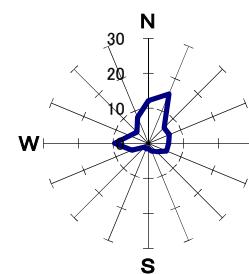
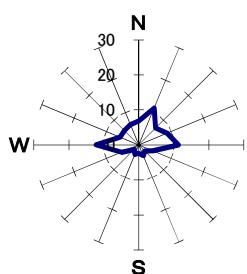
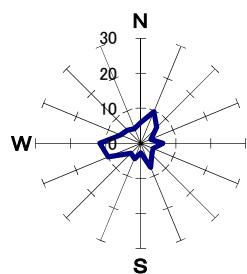
## (10) 測定期風配図

平成31年4月～令和2年3月  
静穏= 3.9 %

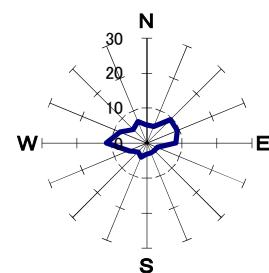
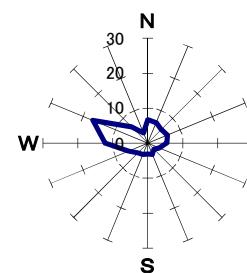
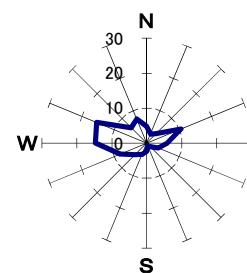
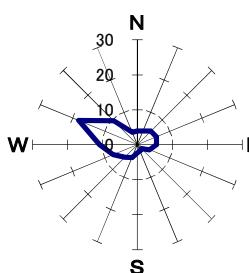
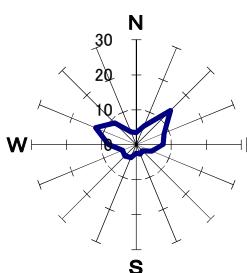
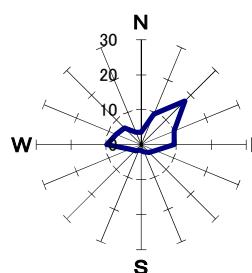
国設松江測定期風配図



平成31年4月 静穏= 1.9 % 令和1年5月 静穏= 3.2 % 令和1年6月 静穏= 4.7 % 令和1年7月 静穏= 4.2 % 令和1年8月 静穏= 3.6 % 令和1年9月 静穏= 3.8 %

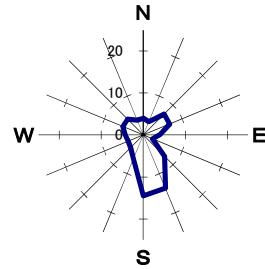


令和1年10月 静穏= 3.0 % 令和1年11月 静穏= 2.4 % 令和1年12月 静穏= 6.3 % 令和2年1月 静穏= 3.5 % 令和2年2月 静穏= 5.1 % 令和2年3月 静穏= 4.6 %

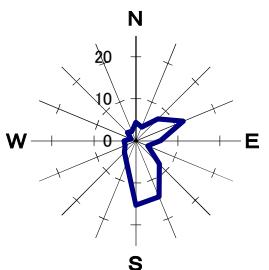
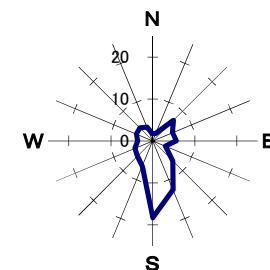
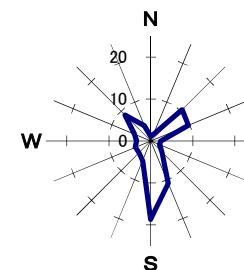
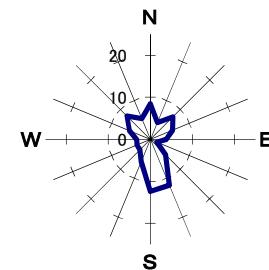
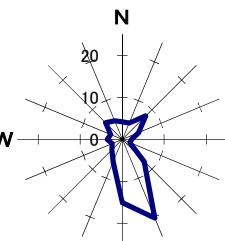
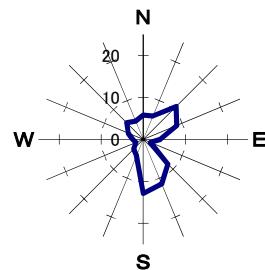


平成31年4月～令和2年3月  
静穏= 4.2 %

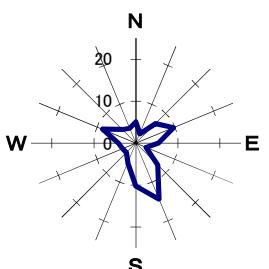
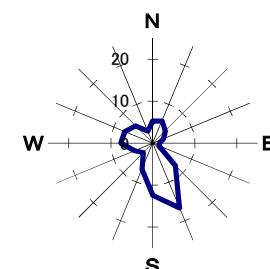
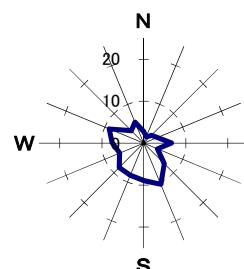
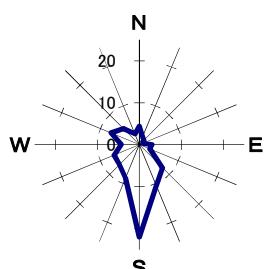
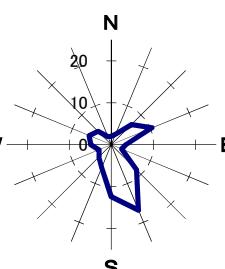
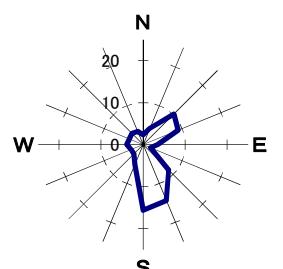
## 安来測定期風配図



平成31年4月 静穏= 3.9 % 令和1年5月 静穏= 3.8 % 令和1年6月 静穏= 4.3 % 令和1年7月 静穏= 5.5 % 令和1年8月 静穏= 5.5 % 令和1年9月 静穏= 4.3 %

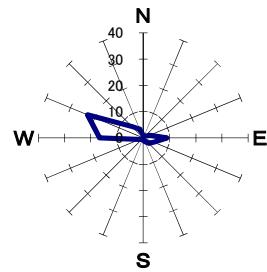


令和1年10月 静穏= 4.3 % 令和1年11月 静穏= 3.6 % 令和1年12月 静穏= 3.6 % 令和2年1月 静穏= 4.4 % 令和2年2月 静穏= 3.8 % 令和2年3月 静穏= 3.6 %

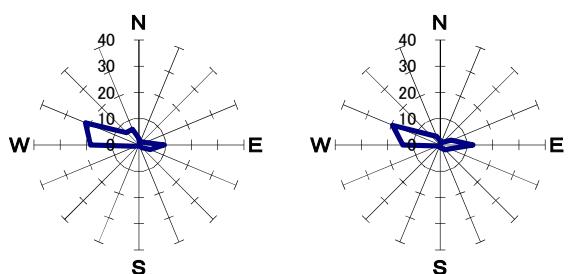
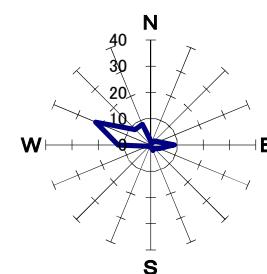
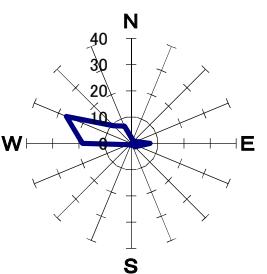
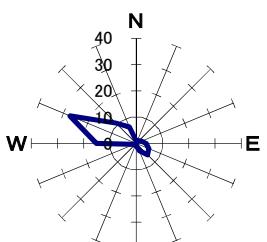
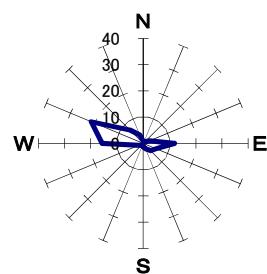


平成31年4月～令和2年3月  
静穏= 24.2 %

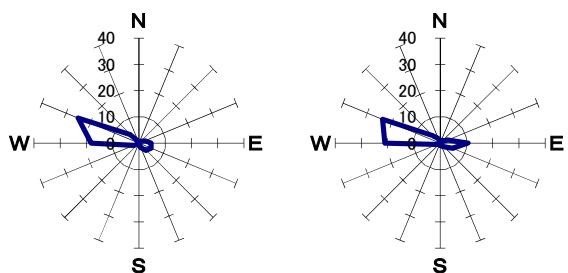
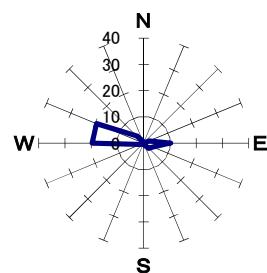
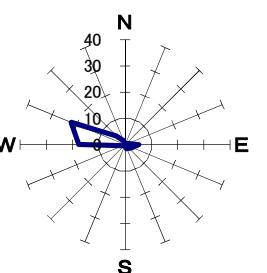
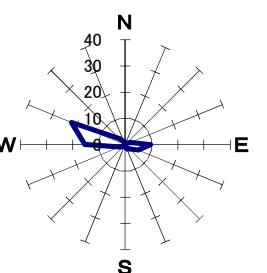
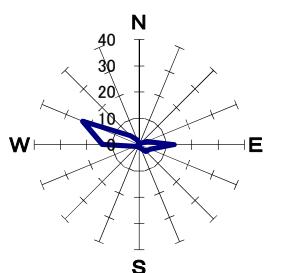
## 雲南合庁測定局風配図



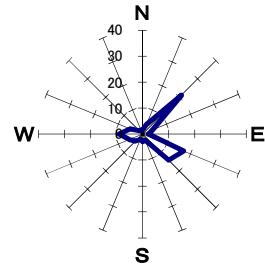
平成31年4月 静穏= 19.0 % 令和1年5月 静穏= 13.0 % 令和1年6月 静穏= 17.1 % 令和1年7月 静穏= 20.6 % 令和1年8月 静穏= 20.8 % 令和1年9月 静穏= 25.1 %



令和1年10月 静穏= 24.2 % 令和1年11月 静穏= 30.4 % 令和1年12月 静穏= 37.2 % 令和2年1月 静穏= 33.1 % 令和2年2月 静穏= 27.4 % 令和2年3月 静穏= 22.0 %



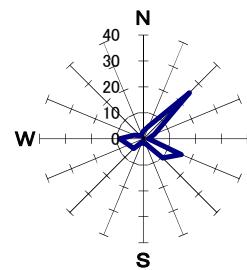
平成31年4月～令和2年3月  
静穏= 1.0 %



## 出雲保健所測定局風配図

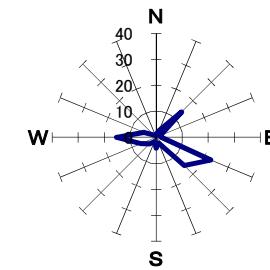
平成31年4月

静穏= 0.8 %



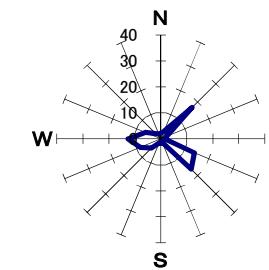
令和1年5月

静穏= 0.3 %



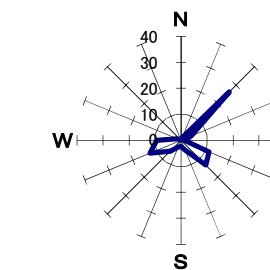
令和1年6月

静穏= 1.1 %



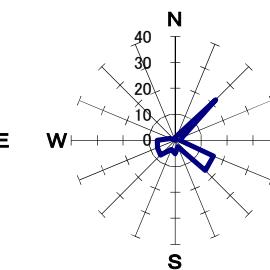
令和1年7月

静穏= 2.2 %



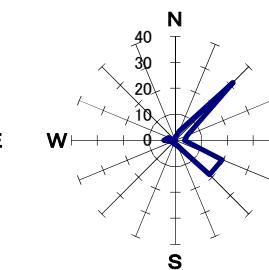
令和1年8月

静穏= 1.7 %



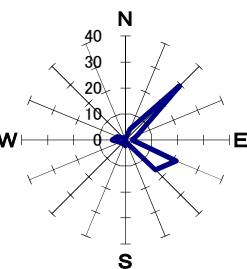
令和1年9月

静穏= 1.0 %



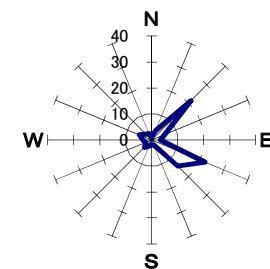
令和1年10月

静穏= 1.1 %



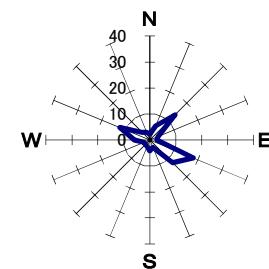
令和1年11月

静穏= 1.0 %



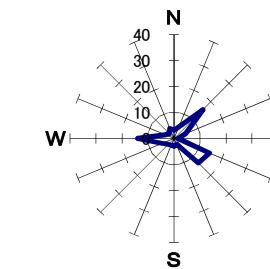
令和1年12月

静穏= 0.8 %



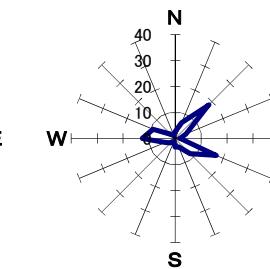
令和2年1月

静穏= 0.9 %



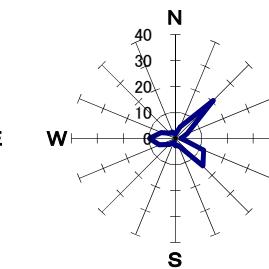
令和2年2月

静穏= 0.9 %

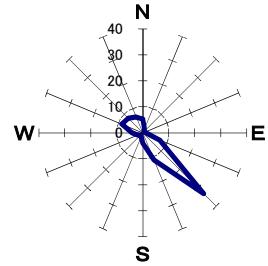


令和2年3月

静穏= 0.7 %

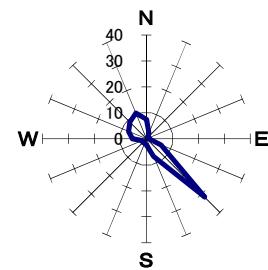


平成31年4月～令和2年3月  
静穏= 2.5 %

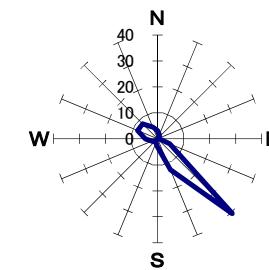


## 大田測定局風配図

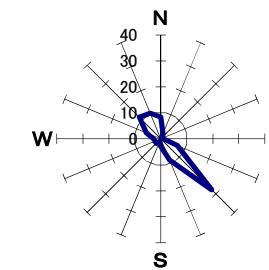
平成31年4月  
静穏= 2.2 %



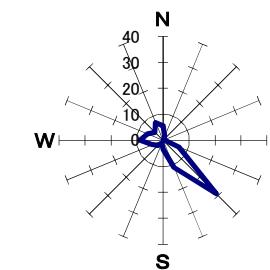
令和1年5月  
静穏= 0.8 %



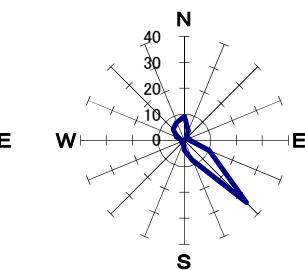
令和1年6月  
静穏= 3.3 %



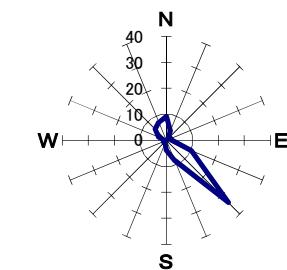
令和1年7月  
静穏= 5.1 %



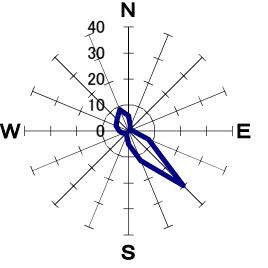
令和1年8月  
静穏= 1.7 %



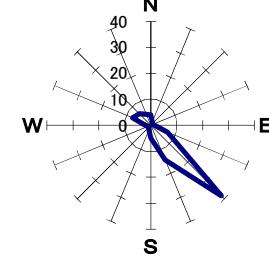
令和1年9月  
静穏= 4.7 %



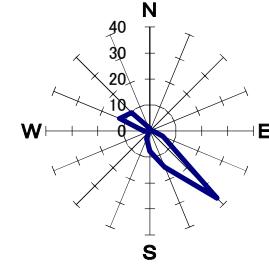
令和1年10月  
静穏= 4.4 %



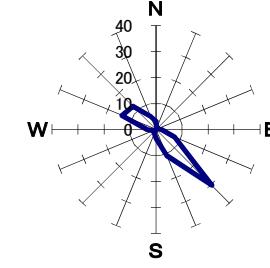
令和1年11月  
静穏= 1.8 %



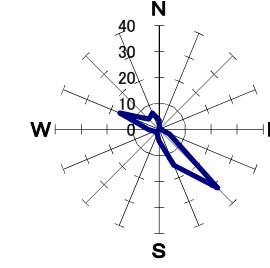
令和1年12月  
静穏= 1.2 %



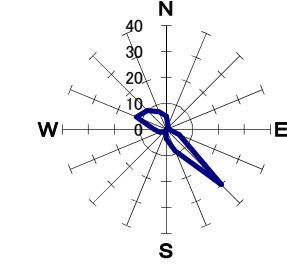
令和2年1月  
静穏= 1.2 %



令和2年2月  
静穏= 0.7 %

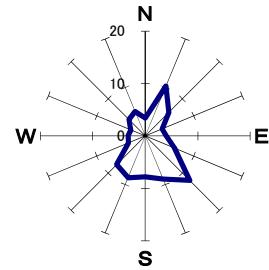


令和2年3月  
静穏= 3.1 %

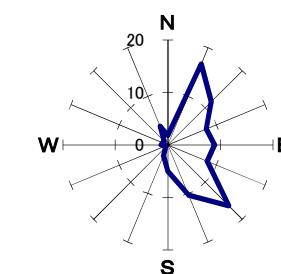
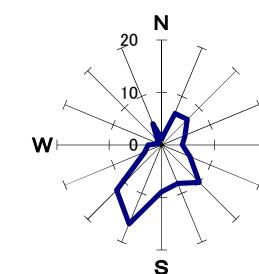
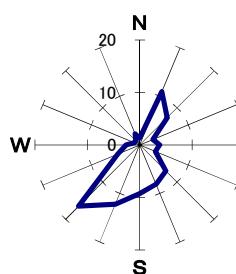
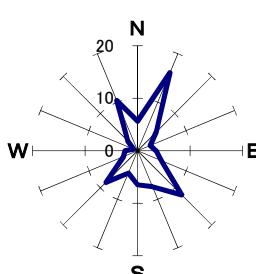
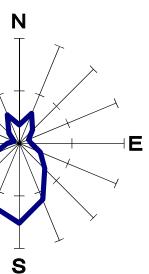
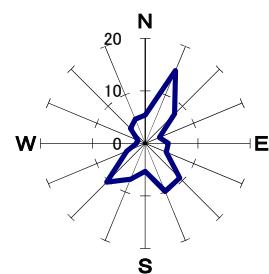


平成31年4月～令和2年3月  
静穏= 2.2 %

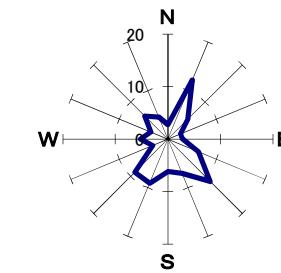
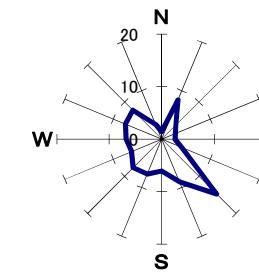
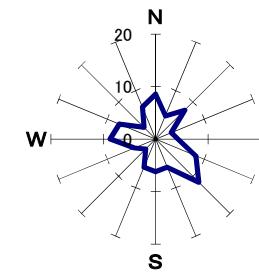
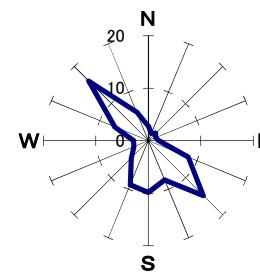
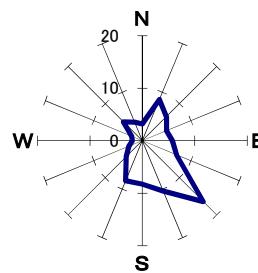
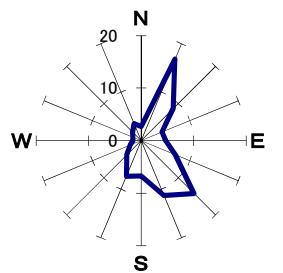
## 江津市役所測定局風配図



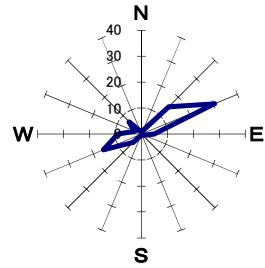
平成31年4月 静穏= 1.8 % 令和1年5月 静穏= 2.2 % 令和1年6月 静穏= 4.2 % 令和1年7月 静穏= 5.9 % 令和1年8月 静穏= 3.4 % 令和1年9月 静穏= 2.6 %



令和1年10月 静穏= 1.1 % 令和1年11月 静穏= 0.4 % 令和1年12月 静穏= 0.7 % 令和2年1月 静穏= 0.5 % 令和2年2月 静穏= 1.3 % 令和2年3月 静穏= 2.6 %

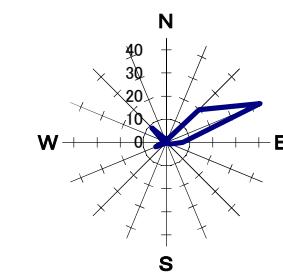
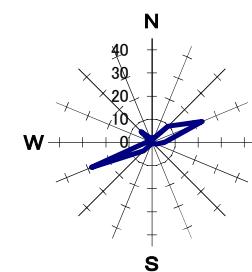
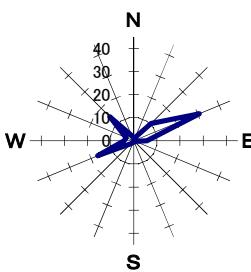
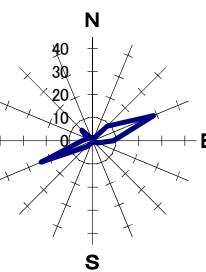
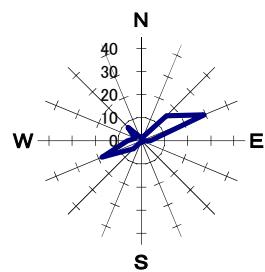


平成31年4月～令和2年3月  
静穏= 3.7 %

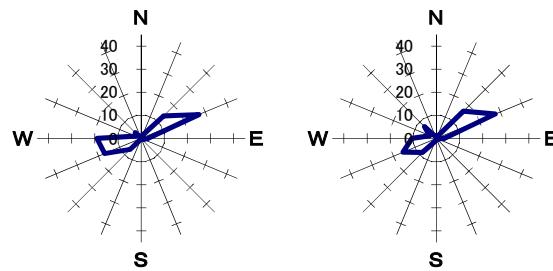
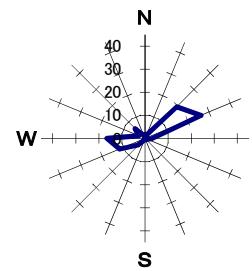
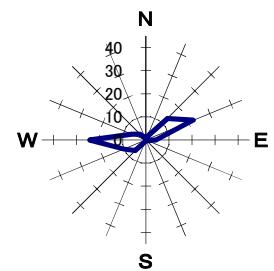
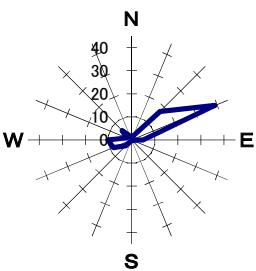
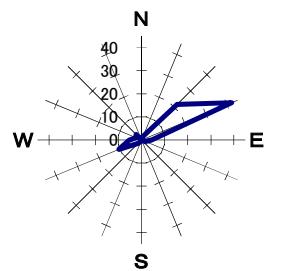


## 浜田合庁測定局風配図

平成31年4月 静穏= 3.2 % 令和1年5月 静穏= 4.7 % 令和1年6月 静穏= 4.2 % 令和1年7月 静穏= 8.5 % 令和1年8月 静穏= 6.3 % 令和1年9月 静穏= 5.0 %

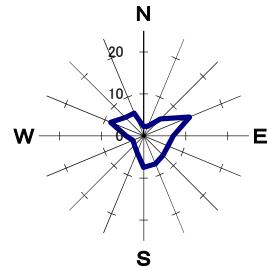


令和1年10月 静穏= 3.0 % 令和1年11月 静穏= 1.7 % 令和1年12月 静穏= 3.1 % 令和2年1月 静穏= 2.2 % 令和2年2月 静穏= 1.6 % 令和2年3月 静穏= 1.3 %

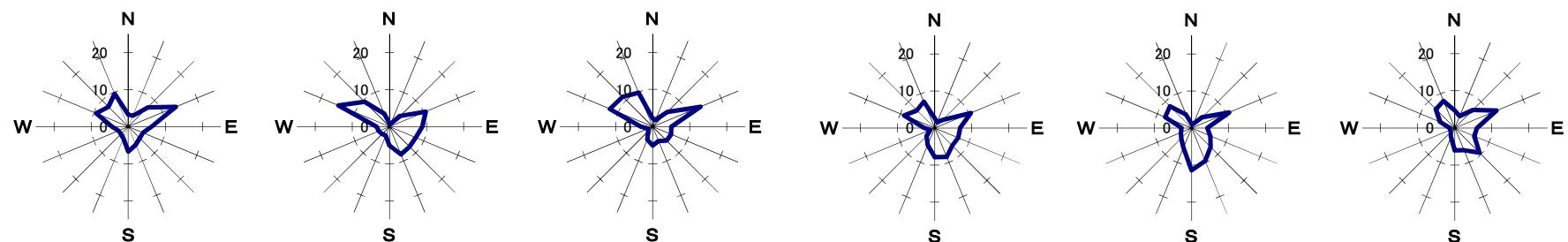


平成31年4月～令和2年3月  
静穏= 8.2 %

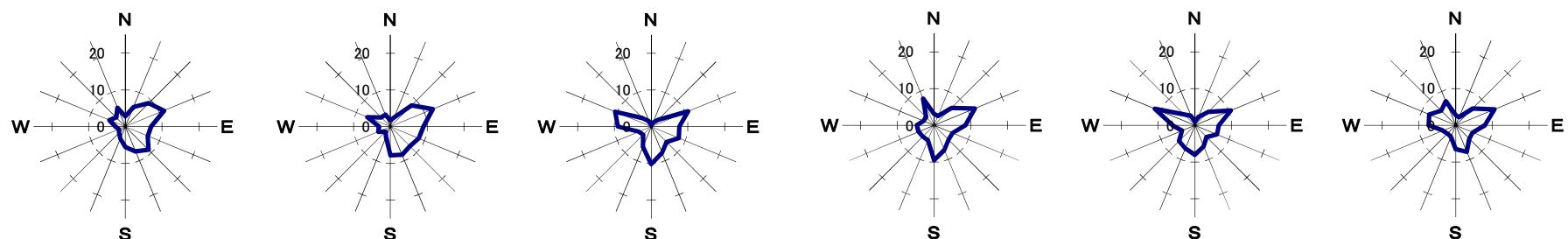
## 益田合庁測定局風配図



平成31年4月 静穏= 5.3 % 令和1年5月 静穏= 6.0 % 令和1年6月 静穏= 7.5 % 令和1年7月 静穏= 9.7 % 令和1年8月 静穏= 9.1 % 令和1年9月 静穏= 12.9 %



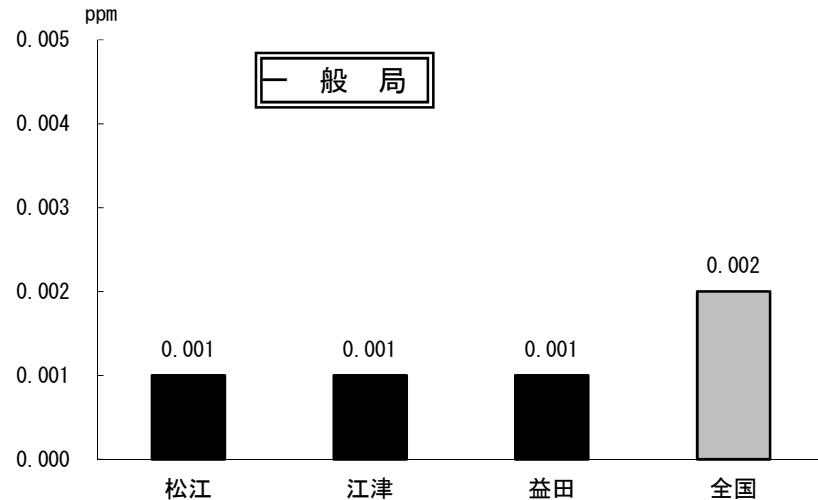
令和1年10月 静穏= 11.4 % 令和1年11月 静穏= 8.3 % 令和1年12月 静穏= 7.9 % 令和2年1月 静穏= 7.0 % 令和2年2月 静穏= 7.4 % 令和2年3月 静穏= 6.2 %



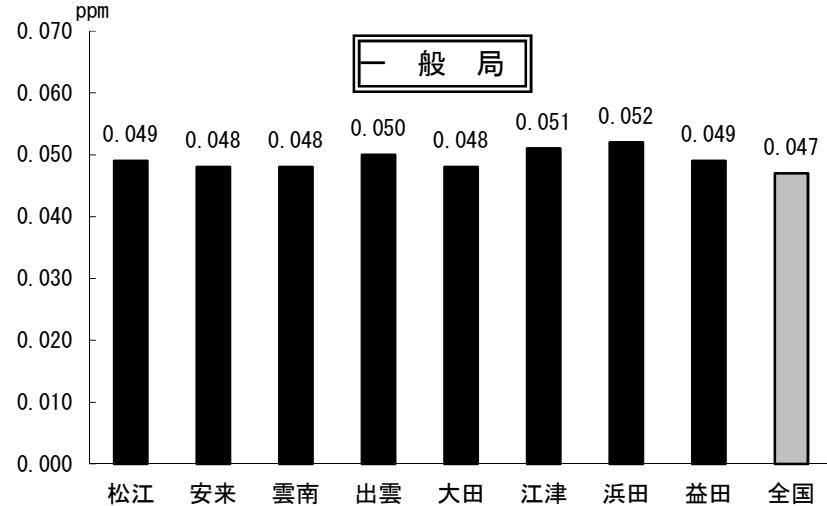
## (11) 年平均値比較

(※ 0xは昼間の日最高 1 時間値の年平均値)

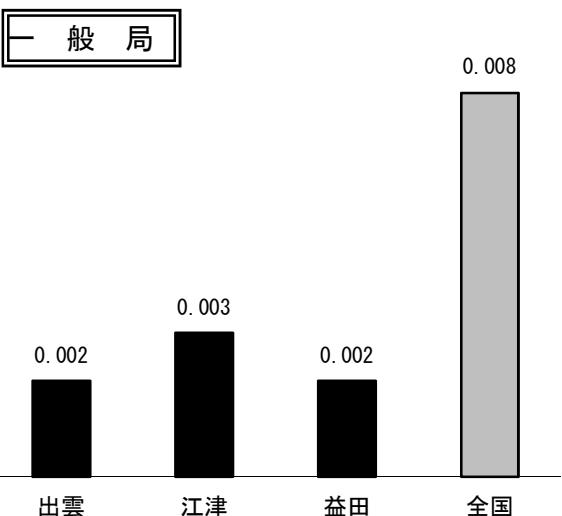
### ○ 二酸化硫黄 ( $\text{SO}_2$ )



### ○ 光化学オキシダント (0x)

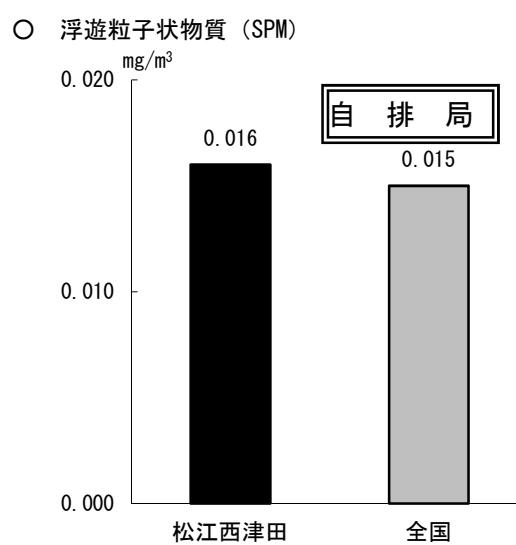
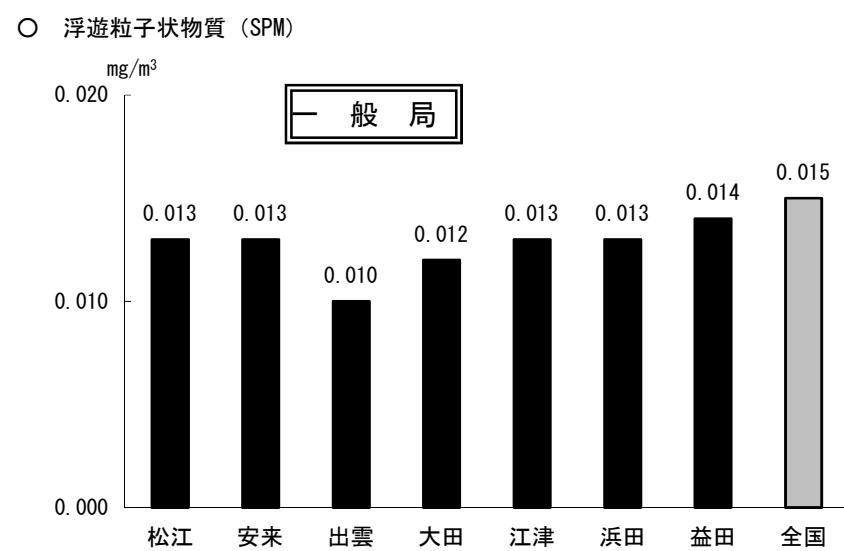
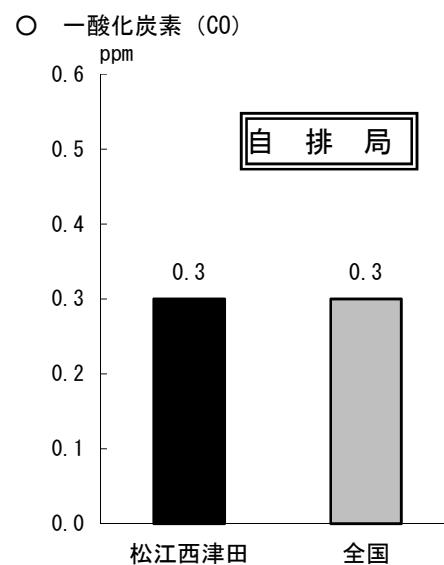
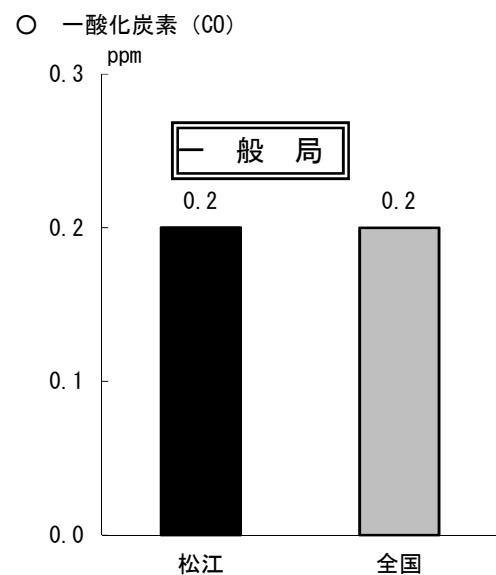


### ○ 二酸化窒素 ( $\text{NO}_2$ )



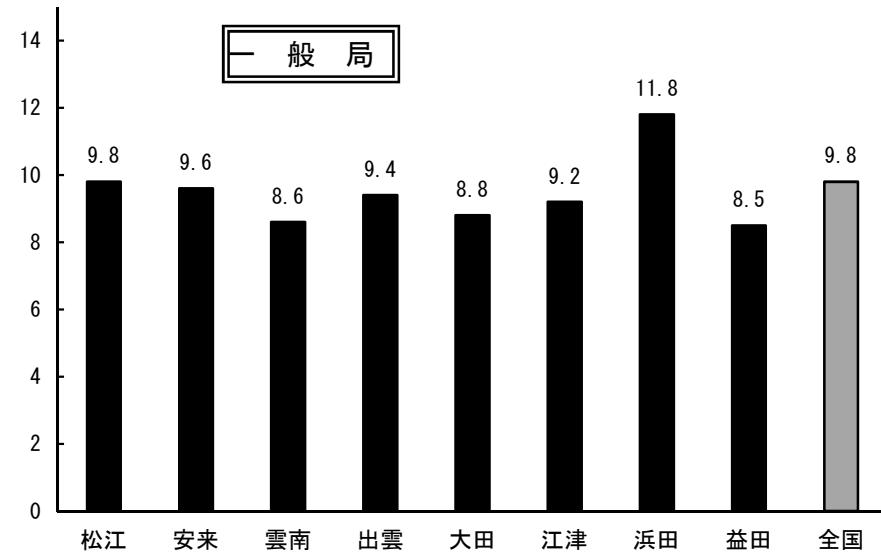
### ○ 二酸化窒素 ( $\text{NO}_2$ )



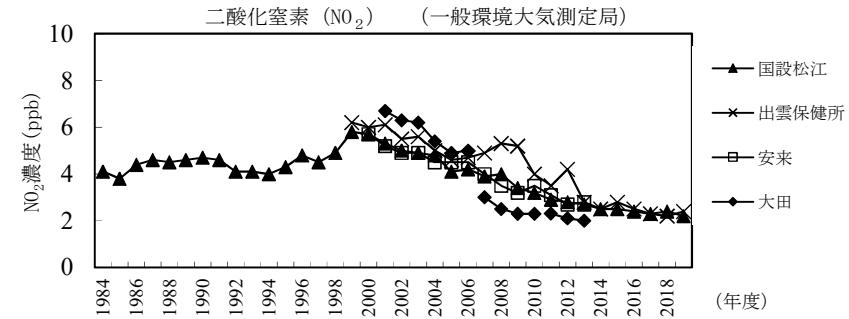
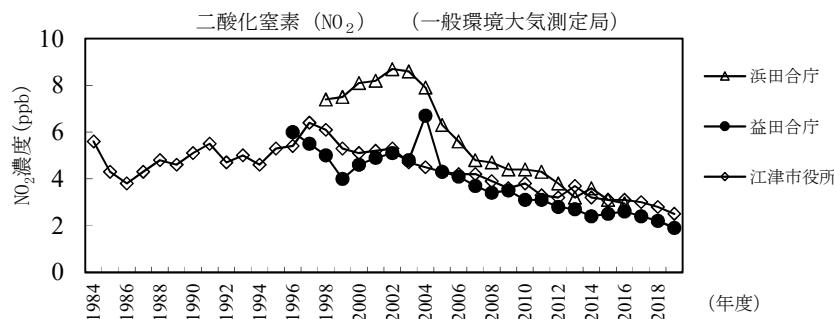
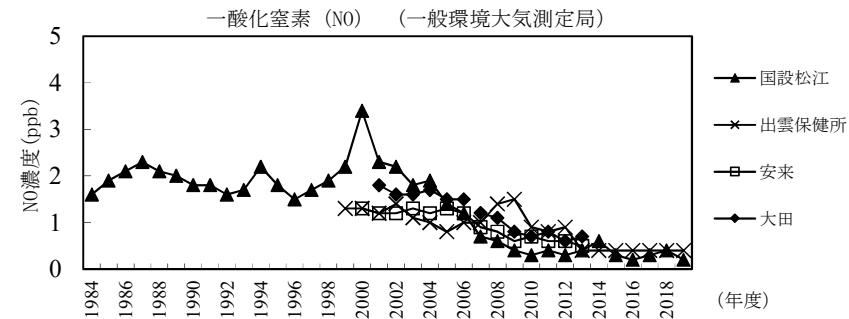
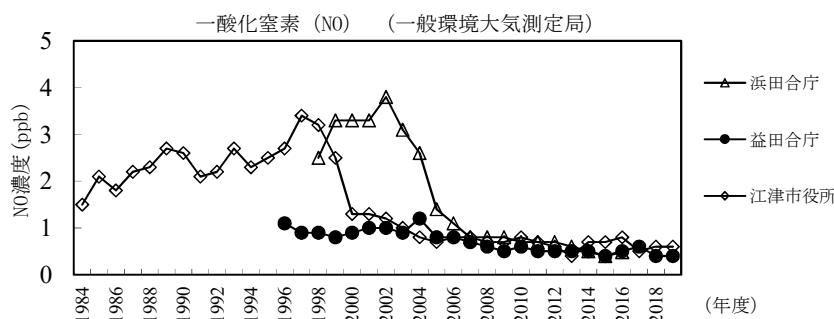
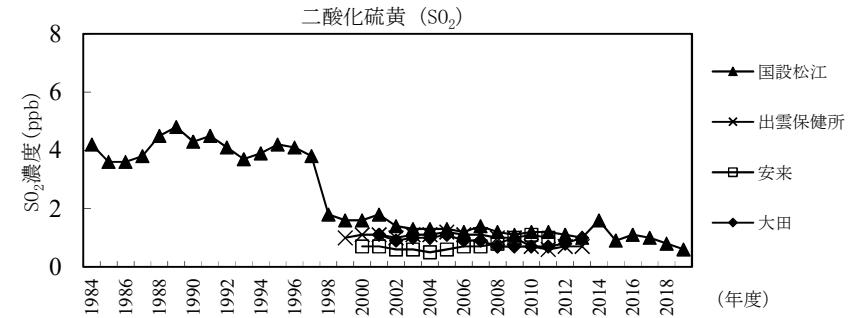
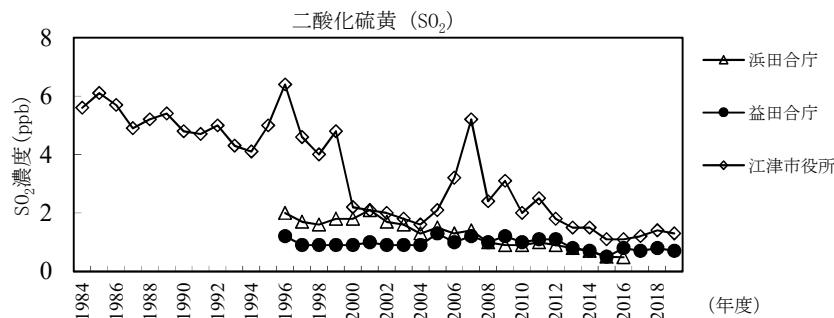


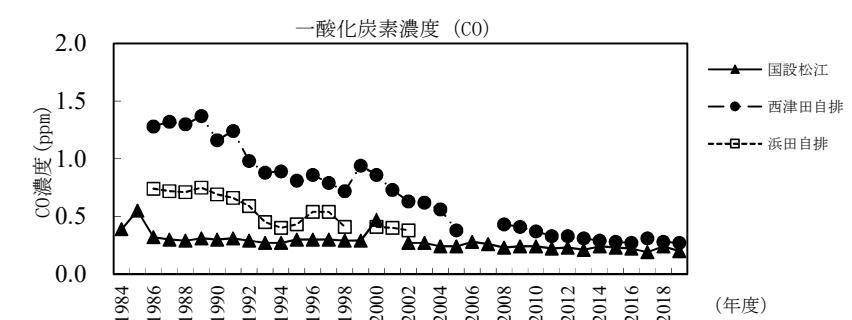
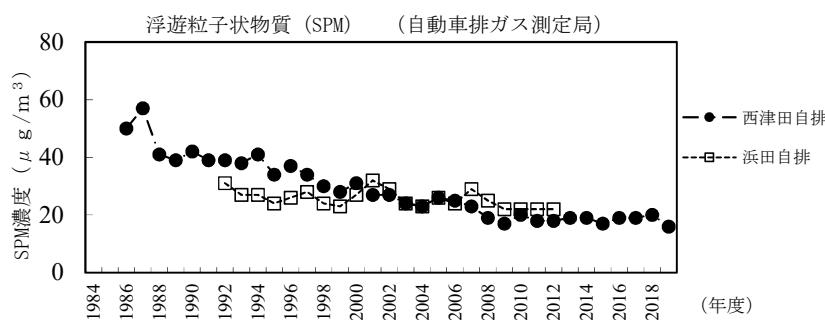
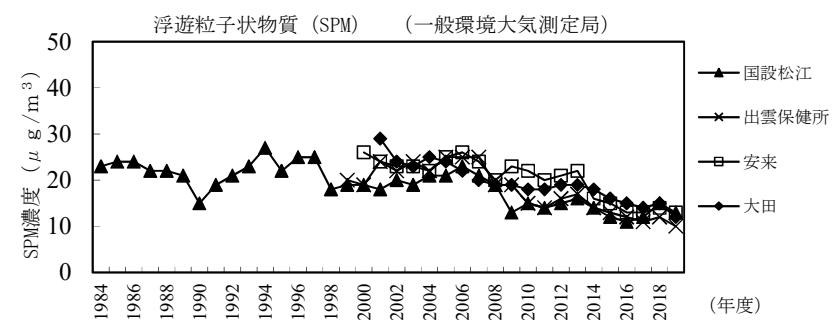
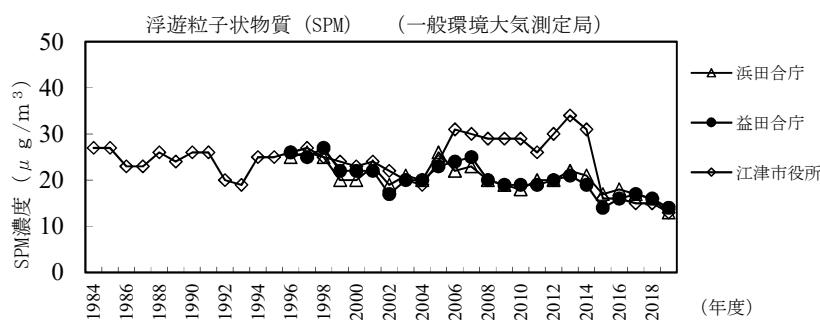
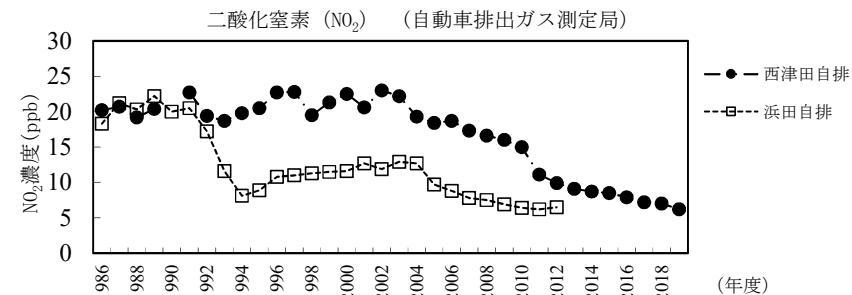
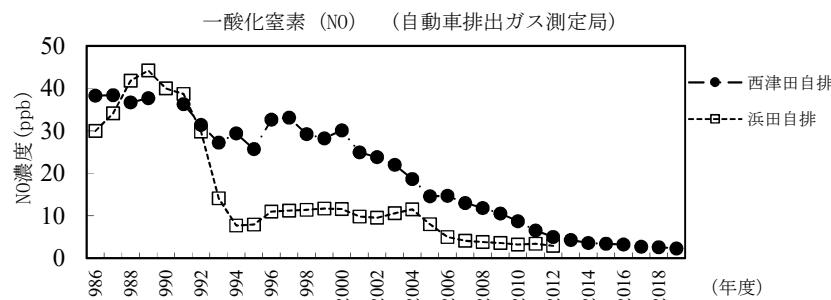
○ 微小粒子状物質 (PM2.5)

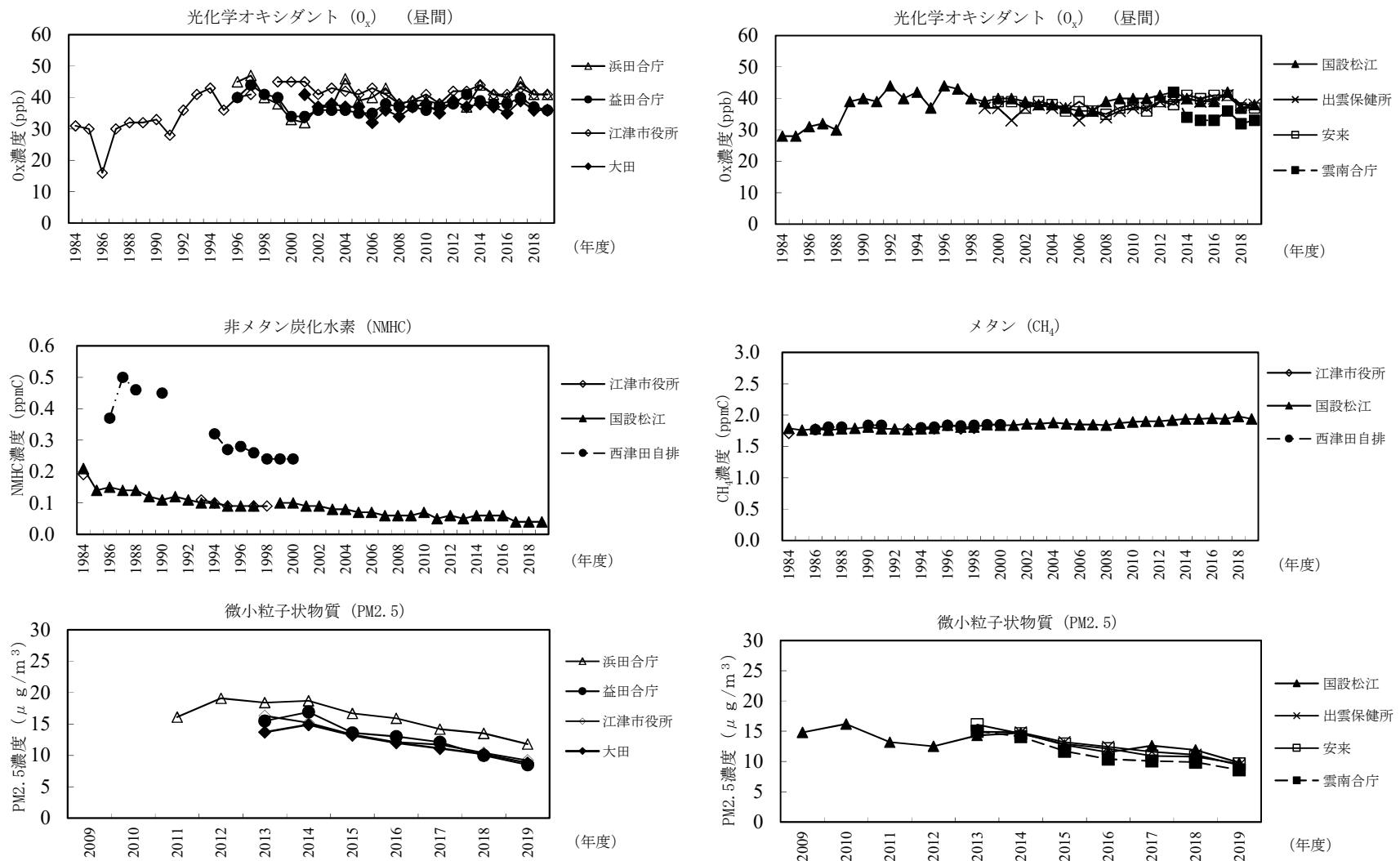
μg/m<sup>3</sup>



(12) 経年変化グラフ(年平均値)







## V. 微小粒子状物質 (PM2.5) 成分分析結果

## 1. 成分分析結果

令和元年度の地点・季節別の成分測定結果を表1～2に、平均質量濃度及び成分割合を図1～4に示す。なお、本図ではPM2.5の主成分である有機炭素（OC=OC1+OC2+OC3+OC4+OCpyro）、元素状炭素（EC=EC1+EC2+EC3-OCpyro）、塩化物イオン（Cl<sup>-</sup>）、硝酸イオン（NO<sub>3</sub><sup>-</sup>）、硫酸イオン（SO<sub>4</sub><sup>2-</sup>）、アンモニウムイオン（NH<sub>4</sub><sup>+</sup>）を区分し、その他のイオン成分は合計して取り扱い、さらに無機元素および不明分は「Other」として示した。

また、季節別の平均値は以下の処理を行った上で算出したものである。

- ・検出下限値以上、定量下限値未満の測定値はそのまま使用した
- ・検出下限値未満の測定値は検出下限値の1/2の値を使用した

## (1) 令和元年度 微小粒子状物質（PM2.5） 成分分析結果

調査地点：国設隱岐酸性雨測定所

(単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

成分項目		春季	夏季	秋季	冬季	年平均値
微小粒子状物質（PM2.5）		12.0	7.3	8.0	8.1	8.9
イオン成分	塩化物イオン	Cl <sup>-</sup>	0.082	<b>0.008</b>	<b>0.029</b>	0.212
	硝酸イオン	NO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	0.250	<b>0.013</b>	<b>0.099</b>	0.409
	硫酸イオン	SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	3.58	2.52	1.63	1.88
	ナトリウムイオン	Na <sup>+</sup>	0.156	0.0870	0.130	0.185
	アンモニウムイオン	NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	1.21	0.652	0.439	0.685
	カリウムイオン	K <sup>+</sup>	0.0346	0.0062	0.0280	0.0195
	マグネシウムイオン	Mg <sup>2+</sup>	0.0362	0.0340	<b>0.0090</b>	0.0478
	カルシウムイオン	Ca <sup>2+</sup>	0.0207	<b>0.0046</b>	<b>0.0209</b>	<b>0.0054</b>
炭素成分	有機炭素	OC	<b>2.06</b>	<b>2.25</b>	<b>1.08</b>	<b>0.727</b>
	元素状炭素	EC	0.400	0.295	<b>0.334</b>	<b>0.244</b>
(単位：ng/m <sup>3</sup> )						

無機元素成分	ベリリウム	Be	<b>0.004</b>	<b>0.003</b>	<b>0.006</b>	<b>0.003</b>	<b>0.004</b>
	ナトリウム	Na	133	87	138	169	132
	マグネシウム	Mg	28.2	12.5	44.8	23.1	27.2
	アルミニウム	Al	79	<b>16</b>	145	24	66
	カリウム	K	75	<b>15</b>	62	<b>29</b>	<b>45</b>
	カルシウム	Ca	32	<b>10</b>	<b>40</b>	8	22
	スカンジウム	Sc	<b>0.009</b>	<b>0.008</b>	<b>0.039</b>	<b>0.008</b>	<b>0.016</b>
	チタン	Ti	5.1	<b>4.7</b>	<b>7.9</b>	<b>1.0</b>	<b>4.7</b>
	バナジウム	V	2.05	2.49	1.04	0.155	1.43
	クロム	Cr	<b>0.39</b>	0.67	<b>0.85</b>	<b>0.21</b>	<b>0.53</b>
	マンガン	Mn	3.08	0.49	2.78	1.01	1.84
	鉄	Fe	64.1	<b>9.9</b>	83.2	<b>14.3</b>	<b>42.9</b>
	コバルト	Co	0.035	<b>0.013</b>	<b>0.038</b>	<b>0.009</b>	<b>0.024</b>
	ニッケル	Ni	0.84	<b>0.90</b>	0.70	<b>0.10</b>	<b>0.63</b>
	銅	Cu	<b>0.4</b>	<b>0.4</b>	<b>0.6</b>	<b>0.4</b>	<b>0.4</b>
	亜鉛	Zn	9.8	<b>3.4</b>	5.7	<b>4.1</b>	<b>5.8</b>
	ヒ素	As	0.947	0.172	0.964	0.622	0.676
	セレン	Se	0.59	<b>0.22</b>	<b>0.28</b>	<b>0.29</b>	0.34
	ルビジウム	Rb	0.279	<b>0.028</b>	0.258	0.110	0.169
	モリブデン	Mo	0.336	0.184	<b>0.156</b>	<b>0.090</b>	<b>0.192</b>
	カドミウム	Cd	0.119	<b>0.019</b>	<b>0.097</b>	<b>0.069</b>	<b>0.076</b>
	アンチモン	Sb	0.288	<b>0.067</b>	0.234	<b>0.131</b>	<b>0.180</b>
	セシウム	Cs	<b>0.034</b>	<b>0.007</b>	<b>0.024</b>	<b>0.015</b>	<b>0.020</b>
	バリウム	Ba	1.05	<b>0.455</b>	1.14	0.842	<b>0.87</b>
	ランタン	La	0.050	<b>0.013</b>	<b>0.052</b>	<b>0.012</b>	<b>0.032</b>
	セリウム	Ce	0.078	<b>0.010</b>	<b>0.098</b>	<b>0.015</b>	<b>0.050</b>
	サマリウム	Sm	<b>0.010</b>	<b>0.010</b>	<b>0.015</b>	<b>0.010</b>	0.011
	ハフニウム	Hf	<b>0.009</b>	<b>0.014</b>	<b>0.049</b>	<b>0.007</b>	<b>0.020</b>
	タンゲステン	W	0.151	<b>0.061</b>	<b>0.147</b>	<b>0.031</b>	<b>0.097</b>
	タンタル	Ta	<b>0.133</b>	<b>0.020</b>	<b>0.078</b>	<b>0.116</b>	<b>0.087</b>
	トリウム	Th	<b>0.008</b>	<b>0.007</b>	<b>0.020</b>	<b>0.007</b>	0.011
	鉛	Pb	2.76	0.504	2.27	1.97	1.88

\*太文字の値は、検出下限値未満の値が含まれる。

\*検出下限値未満の値は検出下限値の1/2として平均値を計算。

## 調査地点：浜田合庁局

(単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

成分項目		春季	夏季	秋季	冬季	年平均値
微小粒子状物質 (PM2.5)		15.0	10.0	11.0	8.8	11.2
イオン成分	塩化物イオン	Cl <sup>-</sup>	0.035	<b>0.005</b>	0.018	0.11
	硝酸イオン	NO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	0.279	<b>0.022</b>	0.137	0.684
	硫酸イオン	SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	3.65	2.82	1.81	1.87
	ナトリウムイオン	Na <sup>+</sup>	0.0993	0.0671	0.0567	0.0847
	アンモニウムイオン	NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	1.28	0.877	0.617	0.830
	カリウムイオン	K <sup>+</sup>	0.0517	0.0490	0.0367	<b>0.0223</b>
	マグネシウムイオン	Mg <sup>2+</sup>	0.0309	0.0355	0.0308	0.0436
	カルシウムイオン	Ca <sup>2+</sup>	0.0199	0.0078	0.0113	<b>0.0041</b>
炭素成分	有機炭素	OC	<b>3.25</b>	<b>1.88</b>	1.75	<b>1.23</b>
	元素状炭素	EC	0.575	0.384	0.367	0.392

(単位： $\text{ng}/\text{m}^3$ )

無機元素成分	ベリリウム	Be	<b>0.003</b>	<b>0.003</b>	<b>0.004</b>	<b>0.003</b>	<b>0.003</b>
	ナトリウム	Na	104	74	77	84	85
	マグネシウム	Mg	21.1	8.5	23.4	<b>12.7</b>	<b>16.4</b>
	アルミニウム	Al	68	<b>11</b>	62	<b>18</b>	<b>40</b>
	カリウム	K	82	37.6	65.9	50.9	59
	カルシウム	Ca	34	<b>5</b>	29	<b>10</b>	<b>20</b>
	スカンジウム	Sc	<b>0.009</b>	<b>0.008</b>	<b>0.034</b>	<b>0.008</b>	<b>0.015</b>
	チタン	Ti	4.0	<b>0.8</b>	<b>3.1</b>	<b>1.0</b>	<b>2.2</b>
	バナジウム	V	1.82	1.67	1.24	0.197	1.23
	クロム	Cr	<b>0.64</b>	<b>0.36</b>	<b>0.58</b>	<b>0.33</b>	<b>0.48</b>
	マンガン	Mn	3.38	0.71	2.15	1.55	1.95
	鉄	Fe	65.7	11.9	49.7	20.5	37.0
	コバルト	Co	<b>0.033</b>	<b>0.008</b>	<b>0.022</b>	<b>0.017</b>	<b>0.020</b>
	ニッケル	Ni	0.83	0.49	<b>0.54</b>	<b>0.23</b>	<b>0.52</b>
	銅	Cu	<b>0.6</b>	<b>0.4</b>	<b>0.6</b>	<b>0.5</b>	<b>0.5</b>
	亜鉛	Zn	14.3	3.3	6.4	<b>5.8</b>	<b>7.5</b>
	ヒ素	As	1.10	0.325	0.772	0.664	0.72
	セレン	Se	<b>0.60</b>	<b>0.25</b>	<b>0.40</b>	<b>0.47</b>	<b>0.43</b>
	ルビジウム	Rb	0.288	<b>0.087</b>	0.202	0.152	<b>0.182</b>
	モリブデン	Mo	0.411	0.091	0.237	0.138	0.219
	カドミウム	Cd	0.149	0.027	0.094	<b>0.100</b>	<b>0.093</b>
	アンチモン	Sb	0.420	0.104	0.269	0.293	0.272
	セシウム	Cs	<b>0.048</b>	<b>0.008</b>	<b>0.062</b>	<b>0.021</b>	<b>0.034</b>
	バリウム	Ba	4.09	0.97	0.845	0.707	1.65
	ランタン	La	0.051	<b>0.011</b>	<b>0.063</b>	<b>0.013</b>	<b>0.034</b>
	セリウム	Ce	0.062	<b>0.009</b>	<b>0.054</b>	<b>0.020</b>	<b>0.036</b>
	サマリウム	Sm	<b>0.010</b>	<b>0.010</b>	<b>0.011</b>	<b>0.010</b>	<b>0.010</b>
	ハフニウム	Hf	<b>0.010</b>	<b>0.013</b>	<b>0.015</b>	<b>0.011</b>	<b>0.012</b>
	タングステン	W	<b>0.134</b>	<b>0.030</b>	<b>0.096</b>	<b>0.065</b>	<b>0.081</b>
	タンタル	Ta	<b>0.20</b>	<b>0.008</b>	<b>0.029</b>	<b>0.048</b>	<b>0.072</b>
	トリウム	Th	<b>0.010</b>	<b>0.005</b>	<b>0.011</b>	<b>0.006</b>	<b>0.008</b>
	鉛	Pb	3.11	0.455	2.06	2.65	2.07

\*太文字の値は、検出下限値未満の値が含まれる。

\*検出下限値未満の値は検出下限値の1/2として平均値を計算。

## (2) 地点季節別平均成分濃度・割合図

○国設隱岐

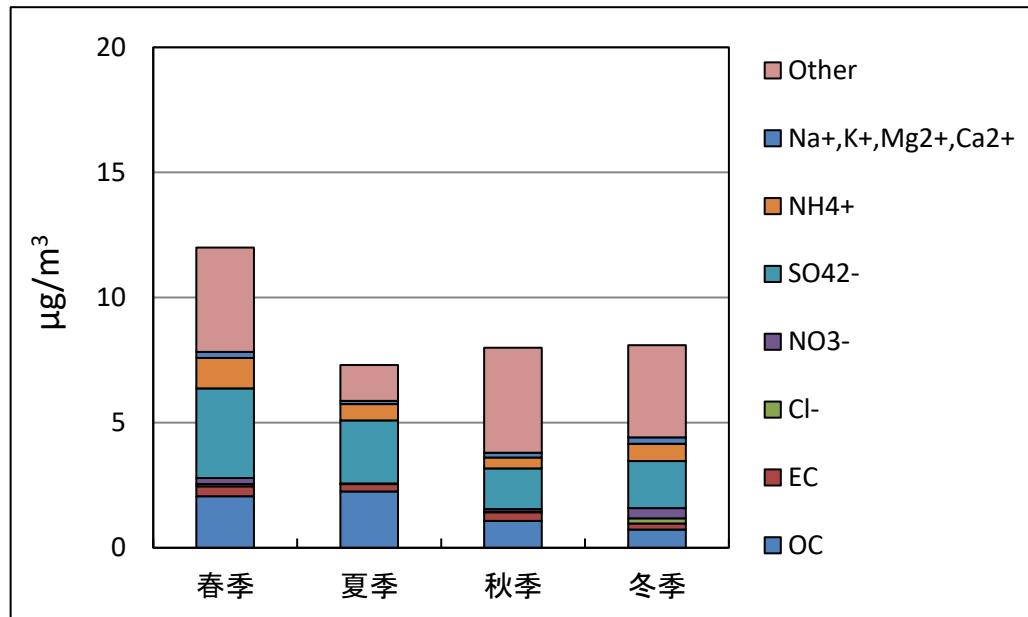


図1. 令和元年度 PM2.5季節別平均成分濃度

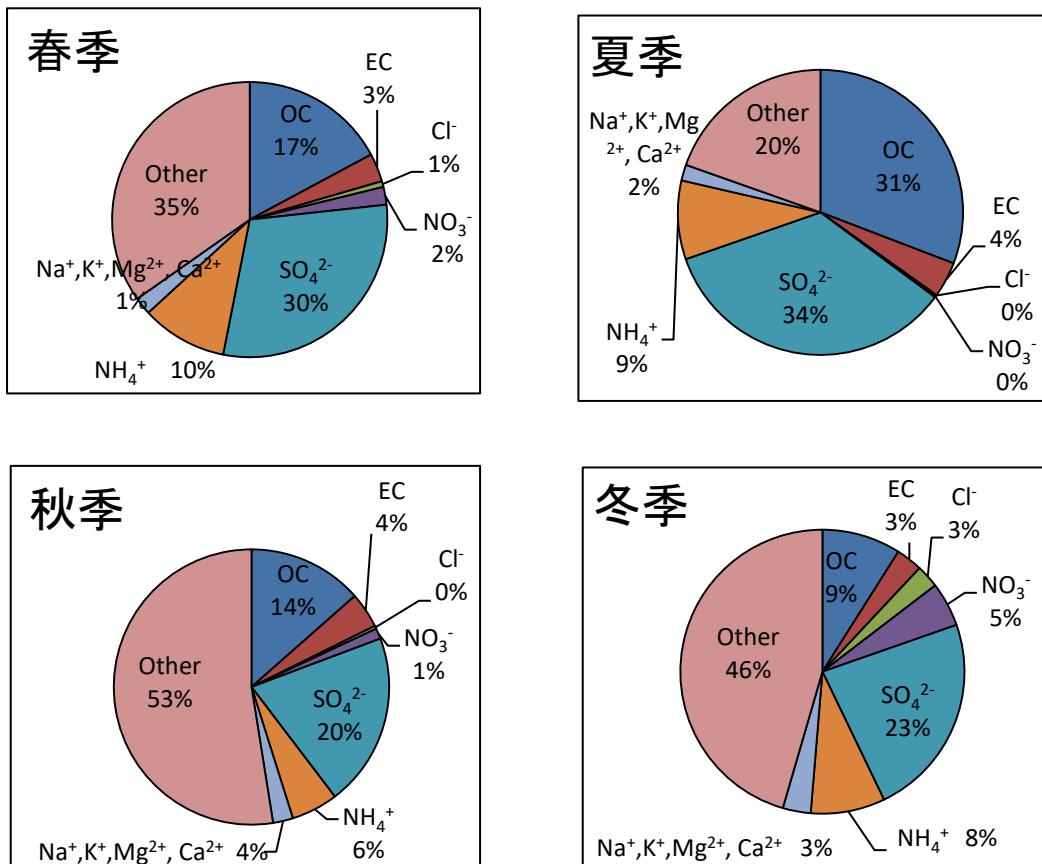


図2. 令和元年度 PM2.5季節別平均成分割合

○浜田合庁

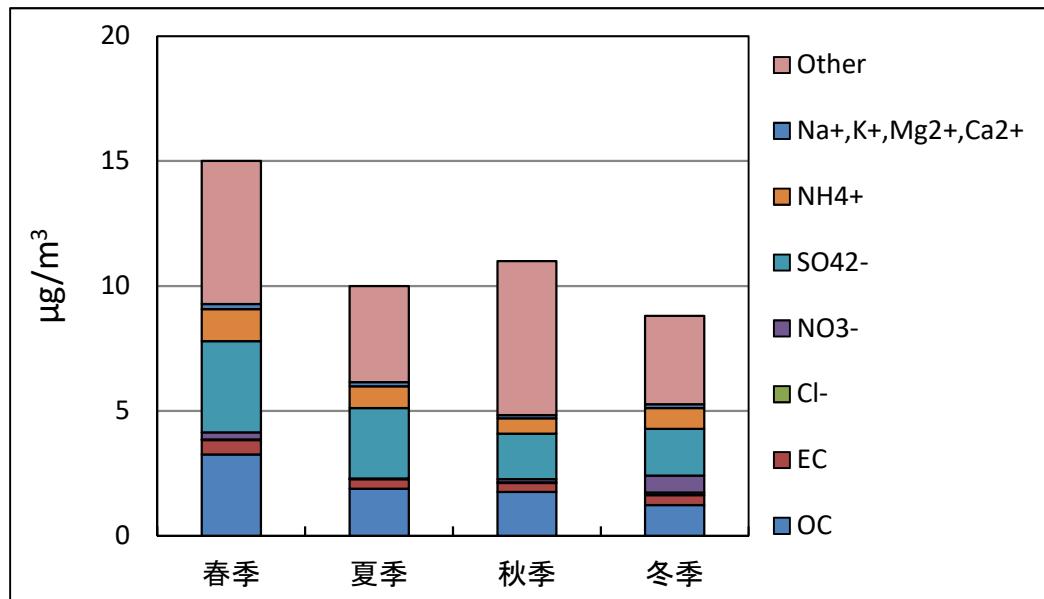


図3. 令和元年度 PM2.5季節別平均成分濃度

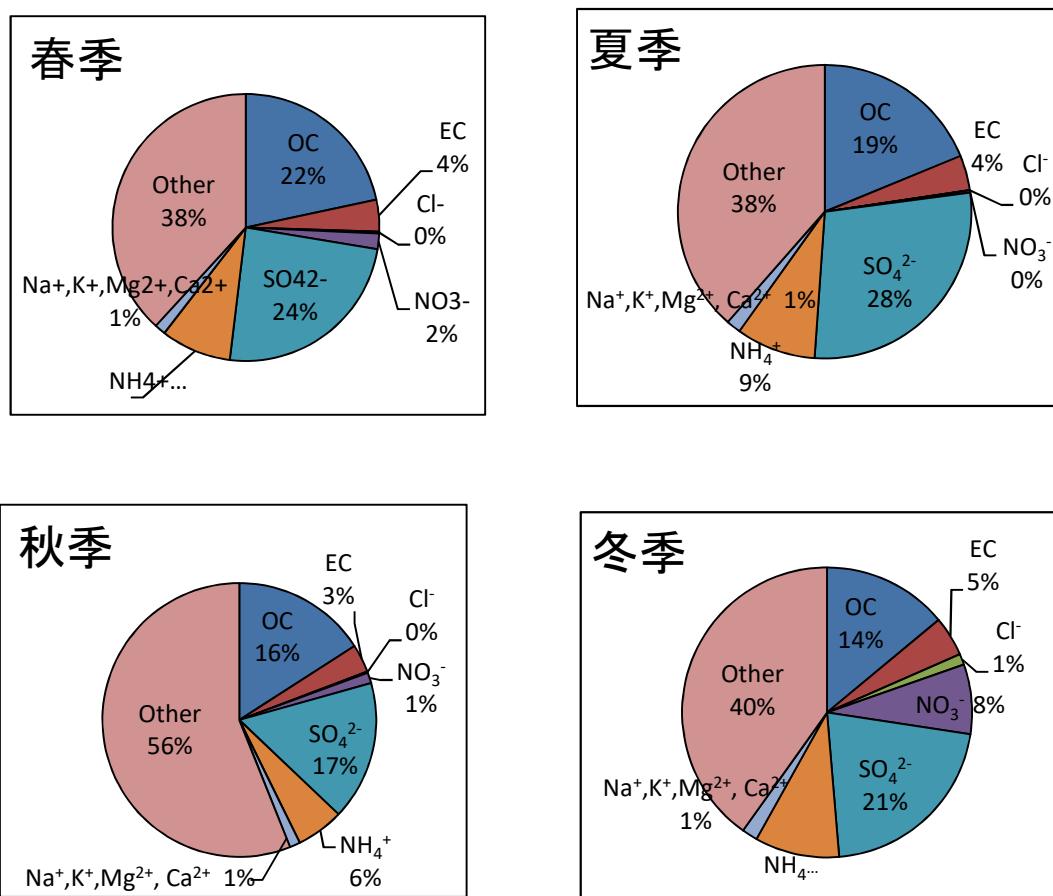


図4. 令和元年度 PM2.5季節別平均成分割合

## VI. 有害大氣污染物質測定結果

## 1. 年間測定結果

- 令和元年度、国設松江局、工業団地周辺および西津田自排局において採取した試料の測定分析結果を月別、成分別に示す。
- 調査は「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」（平成9年2月12日環境庁（当時）策定、平成31年3月最終改正）に準拠した。
- 対象物質は、環境基準が設定されている4物質（ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン）、健康リスク低減を図るための指針値が設定されている11物質（アクリロニトリル、アセトアルデヒド、塩化ビニルモノマー、塩化メチル、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、水銀及びその化合物、ニッケル化合物、ヒ素およびその化合物、1,3-ブタジエン、マンガン及びその化合物）およびその他有害大気汚染物質である5物質（クロム及びその化合物、トルエン、ベリリウム及びその化合物、ベンゾ[a]ピレン、ホルムアルデヒド）とした。

※( ) 付け値は検出下限値の2分の1であることを表す  
※zzzはサンプリング不良等により欠測であることを表す  
単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$

### (1) ベンゼン

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
松江市	国設松江局	一般環境	0.36	0.37	0.42	0.60	0.12	0.26	0.31	0.33	0.54	1.2	0.95	0.48	0.50	
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	0.50	0.37	0.50	0.52	0.35	0.33	0.47	0.36	0.54	1.2	1.0	0.64	0.56	
松江市	西津田自排局	沿道	0.45	0.47	0.47	0.57	0.29	0.36	0.42	0.36	0.54	1.5	1.2	0.66	0.61	

[環境基準] 年平均値3  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  以下

### (2) トリクロロエチレン

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
松江市	国設松江局	一般環境	0.030	0.043	0.022	0.021	0.017	0.13	0.13	0.030	0.038	0.040	0.064	0.058	0.052	
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	0.013	0.064	0.051	0.011	0.030	0.083	0.13	0.020	0.028	0.068	0.074	0.047	0.052	
松江市	西津田自排局	一般環境	0.006	0.039	(0.003)	0.021	0.015	0.10	0.11	0.024	0.018	0.036	0.040	0.037	0.038	

[環境基準] 年平均値200  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  以下 (~H30.11.19)、年平均値130  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  以下 (H30.11.19告示)

### (3) テトラクロロエチレン

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
松江市	国設松江局	一般環境	0.054	0.048	0.029	0.058	(0.003)	0.031	0.026	0.039	0.054	0.055	0.055	0.055	0.042	
松江市	工業団地周辺	一般環境	0.022	0.027	0.030	0.037	0.028	(0.003)	(0.003)	0.025	0.044	0.054	0.051	0.055	0.032	
松江市	西津田自排局	一般環境	0.018	0.035	(0.003)	0.034	(0.003)	(0.003)	(0.003)	0.018	0.031	0.027	0.017	0.038	0.018	

[環境基準] 年平均値200  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  以下

### (4) ジクロロメタン

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
松江市	国設松江局	一般環境	0.39	0.59	0.50	1.2	0.17	0.32	0.46	0.33	0.53	0.46	0.59	0.38	0.49	
松江市	工業団地周辺	一般環境	0.39	0.60	0.58	1.2	0.44	0.39	0.43	0.35	0.51	0.40	0.49	0.46	0.52	
松江市	西津田自排局	一般環境	0.34	0.68	0.59	1.2	0.20	0.40	0.38	0.31	0.44	0.45	0.37	0.52	0.49	

[環境基準] 年平均値150  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  以下

### (5) アクリロニトリル

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
松江市	国設松江局	一般環境	0.015	0.017	0.017	0.015	0.011	0.013	0.013	0.012	0.020	0.028	0.021	0.022	0.017	
松江市	工業団地周辺	一般環境	0.014	0.020	0.039	0.015	0.021	0.010	0.019	0.006	0.019	0.021	0.036	0.033	0.021	
松江市	西津田自排局	一般環境	0.006	0.028	0.010	0.010	0.015	0.005	0.008	(0.002)	0.016	0.019	0.016	0.013	0.012	

[指針値] 年平均値2  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  以下

### (6) 塩化ビニルモノマー

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
松江市	国設松江局	一般環境	0.031	(0.006)	0.020	0.015	(0.006)	(0.006)	(0.006)	(0.006)	0.041	0.057	0.078	0.020	0.024	
松江市	工業団地周辺	一般環境	0.035	(0.006)	0.024	(0.006)	(0.006)	0.017	(0.006)	0.017	0.013	0.082	0.066	0.046	0.027	
松江市	西津田自排局	一般環境	0.023	(0.006)	0.073	0.014	(0.006)	0.017	(0.006)	0.017	(0.006)	0.12	0.14	0.043	0.038	

[指針値] 年平均値10  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  以下

### (7) クロロホルム

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
松江市	国設松江局	一般環境	0.33	0.21	0.23	0.33	0.079	0.17	0.18	0.20	0.54	0.33	0.34	0.12	0.25	
松江市	工業団地周辺	一般環境	0.25	0.19	0.22	0.32	0.10	0.16	0.18	0.22	0.39	0.35	0.28	0.19	0.23	
松江市	西津田自排局	一般環境	0.38	0.16	0.18	0.29	0.07	0.11	0.12	0.22	0.46	0.30	0.40	0.19	0.24	

[指針値] 年平均値18  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  以下

### (8) 1,2-ジクロロエタン

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
松江市	国設松江局	一般環境	0.12	0.14	0.16	0.54	0.029	0.099	0.091	0.097	0.15	0.14	0.11	0.11	0.15	
松江市	工業団地周辺	一般環境	0.099	0.12	0.15	0.51	0.040	0.081	0.075	0.086	0.13	0.13	0.11	0.13	0.14	
松江市	西津田自排局	一般環境	0.090	0.11	0.12	0.51	0.027	0.065	0.065	0.080	0.11	0.096	0.082	0.13	0.12	

[指針値] 年平均値1.6  $\mu\text{g}/\text{m}^3$  以下

## (9) 水銀及びその化合物

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値	単位: ngHg/m <sup>3</sup>
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
松江市	国設松江局	一般環境	1.6	1.9	1.8	1.9	1.4	1.3	1.2	1.5	1.6	1.9	1.8	1.8	1.6		
松江市	工業団地周辺	一般環境	4.4	2.6	2.0	2.1	1.9	1.7	3.9	1.4	1.5	2.0	1.8	1.8	2.3		

【指針値】 年平均値40ng Hg/m<sup>3</sup>以下

## (10) ニッケル化合物

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値	単位: ngNi/m <sup>3</sup>
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
松江市	国設松江局	一般環境	0.44	1.5	1.7	2.3	1.6	4.3	2.4	1.3	0.18	0.76	0.80	0.84	1.5		
松江市	工業団地周辺	一般環境	15	5.3	4.0	2.0	1.3	3.5	4.0	0.37	0.13	2.1	0.51	1.3	3.3		
安来市	安来市中央交流センター	発生源周辺	2.5	12	3.0	3.2	4.4	8.4	3.6	1.0	0.98	4.7	4.4	0.23	4.0		

【指針値】 年平均値25ng Ni/m<sup>3</sup>以下

## (11) ヒ素及びその化合物

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値	単位: ng/m <sup>3</sup>
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
松江市	国設松江局	一般環境	0.36	1.0	0.95	1.6	0.12	0.54	0.98	1.0	1.2	1.2	1.1	0.84	0.91		
松江市	工業団地周辺	一般環境	1.0	1.6	1.6	1.7	0.92	0.83	1.4	2.6	0.71	1.8	1.6	0.67	1.4		
安来市	安来市中央交流センター	一般環境	0.50	0.93	1.4	1.8	0.18	0.98	1.0	3.3	0.66	1.8	1.1	0.65	1.2		

【指針値】 年平均値6ng As/m<sup>3</sup>以下

## (12) 1,3-ブタジエン

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値	単位: μg/m <sup>3</sup>
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
松江市	国設松江局	一般環境	0.013	0.014	0.011	0.013	0.012	0.028	(0.001)	(0.001)	0.0092	0.048	0.018	0.011	0.015		
松江市	工業団地周辺	一般環境	0.013	0.0090	0.027	0.0043	0.024	0.028	0.0082	0.0045	0.024	0.046	0.039	0.016	0.020		
松江市	西津田自排局	沿道	0.0046	0.0078	(0.0011)	0.0055	0.023	0.043	0.0033	0.0025	0.0056	0.062	0.045	0.010	0.018		

【指針値】 年平均値2.5μg/m<sup>3</sup>以下

## (13) マンガン及びその化合物

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値	単位: ng/m <sup>3</sup>
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
松江市	国設松江局	一般環境	4.0	10	8.0	10	5.5	9.1	7.0	7.3	4.2	5.1	2.3	2.7	6.3		
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	42	23	39	13	17	15	20	10	5.0	8.6	4.8	3.7	15		
安来市	安来市中央交流センター	発生源周辺	11	31	18	17	14	15	10	9.4	5.4	11	33	2.5	15		

【指針値】 年平均値140ng Mn/m<sup>3</sup>以下

## (14) アセトアルデヒド

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値	単位: μg/m <sup>3</sup>
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
松江市	国設松江局	一般環境	4.5	6.4	7.6	4.9	3.6	6.1	5.0	2.4	2.4	1.9	2.3	2.1	4.1		
松江市	工業団地周辺	一般環境	3.3	4.8	5.4	4.5	2.7	3.8	2.5	1.7	1.4	1.4	1.6	2.0	2.9		
松江市	西津田自排局	沿道	2.4	3.5	3.6	3.4	1.2	1.5	2.4	1.4	1.4	1.8	1.7	1.9	2.2		

## (15) 塩化メチル

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値	単位: μg/m <sup>3</sup>
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
松江市	国設松江局	一般環境	2.4	4.6	3.1	5.2	2.3	2.3	2.6	4.0	2.2	2.7	4.0	2.0	3.1		
松江市	工業団地周辺	一般環境	2.3	4.6	2.9	4.6	2.3	2.7	2.7	3.7	2.3	2.4	3.9	2.6	3.1		
松江市	西津田自排局	一般環境	2.2	4.1	3.1	4.6	2.4	2.4	2.3	3.7	2.0	2.1	3.6	2.5	2.9		

## (16) クロム及びその化合物

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値	単位: ng/m <sup>3</sup>
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
松江市	国設松江局	一般環境	0.54	3.9	1.4	2.1	0.74	13	4.6	0.88	0.83	1.1	0.73	0.89	2.6		
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	18	5.8	7.1	2.0	4.9	8.1	8.5	1.6	0.65	3.3	0.66	1.5	5.2		
安来市	安来市中央交流センター	発生源周辺	4.8	26	9.3	8.2	8.3	21	5.9	2.3	1.6	7.3	27	0.69	10		

## (17) トルエン

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値	単位: μg/m <sup>3</sup>
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
松江市	国設松江局	一般環境	0.22	0.56	0												

## (18) ベリリウム及びその化合物

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値	単位: ng/m <sup>3</sup>
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
松江市	国設松江局	一般環境	(0.007)	(0.007)	(0.007)	(0.007)	(0.007)	(0.007)	(0.007)	0.015	(0.007)	(0.007)	(0.007)	(0.007)	0.008		
松江市	工業団地周辺	一般環境	0.094	0.021	0.019	(0.007)	(0.007)	(0.007)	0.015	0.024	(0.007)	(0.007)	(0.007)	(0.007)	0.019		
安来市	安来市中央交流センター	一般環境	0.033	0.021	0.023	0.021	(0.007)	(0.007)	0.057	(0.007)	(0.007)	(0.007)	0.035	(0.007)	0.019		

## (19) ペンゾ[a]ビレン

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値	単位: ng/m <sup>3</sup>
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
松江市	国設松江局	一般環境	0.016	0.11	0.094	0.068	0.011	0.028	0.035	0.041	0.042	0.15	0.11	0.024	0.060		
松江市	工業団地周辺	一般環境	0.018	0.12	0.16	0.056	0.033	0.034	0.039	0.14	0.076	0.21	0.14	0.023	0.088		
松江市	西津田自排局	沿道	0.12	0.084	0.097	0.063	0.023	0.039	0.064	0.039	0.048	0.15	0.093	0.024	0.071		

## (20) ホルムアルデヒド

市町村	測定地点	地域分類	令和元年										令和2年			年平均値	単位: μg/m <sup>3</sup>
			H31年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
松江市	国設松江局	一般環境	1.9	4.3	4.7	4.2	3.8	5.0	4.9	3.1	2.5	1.7	1.7	1.8	3.3		
松江市	工業団地周辺	一般環境	1.7	2.6	3.7	3.3	4.1	4.3	4.6	2.7	2.2	1.2	1.2	1.4	2.8		
松江市	西津田自排局	沿道	3.9	5.1	5.7	4.1	2.9	4.9	5.7	3.0	3.1	2.0	1.4	3.4	3.8		

## 2. 経年変化

有害大気汚染物質調査について、各化学物質の年度平均値を表に示す。

			単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$																																		
市町村	測定地点	地域分類	年平均値																																		
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度												
松江市	国設松江局	一般環境	1.8	0.97	0.70	0.73	0.70	0.77	0.82	0.97	0.73	0.98	0.82	1.2	0.76	0.76	0.55	0.65	0.56	0.71	0.70	0.59	0.54	0.51	0.50												
浜田市	浜田合庁局	一般環境	1.6	1.5	1.1	0.85	0.88	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	—	—	—	0.94	1.1	0.87	0.94	1.2	0.84	1.3	0.94	1.2	0.79	0.79	0.63	0.66	0.57	0.66	0.68	0.62	0.58	0.50	0.56												
安来市	和銅博物館	発生源周辺	1.8	1.2	0.98	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
松江市	西津田自排局	沿道	4.4	3.0	3.1	2.1	2.5	2.0	2.5	2.5	1.8	2.4	1.6	2.5	1.4	1.4	1.1	1.0	0.75	0.83	0.89	0.81	0.78	0.68	0.61												
(2) トリクロロエチレン			単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$																																		
市町村	測定地点	地域分類	年平均値																																		
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度												
松江市	国設松江局	一般環境	0.34	0.14	0.092	0.11	0.14	0.069	0.15	0.13	0.11	0.16	0.070	0.079	0.037	0.037	0.050	0.036	0.022	0.036	0.038	0.036	0.032	0.045	0.052												
浜田市	浜田合庁局	一般環境	0.12	0.088	0.068	0.051	0.038	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	—	—	—	1.9	1.1	0.72	1.0	1.6	0.53	0.97	0.30	1.0	0.31	0.31	0.12	0.12	0.078	0.14	0.069	0.043	0.031	0.046	0.052												
安来市	和銅博物館	発生源周辺	0.26	0.24	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
松江市	西津田自排局	沿道	1.0	0.57	0.72	0.38	0.82	0.26	0.93	0.89	0.29	0.94	0.45	0.33	0.19	0.19	0.14	0.12	0.052	0.27	0.081	0.045	0.022	0.038	0.038												
(3) テトラクロロエチレン			単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$																																		
市町村	測定地点	地域分類	年平均値																																		
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度												
松江市	国設松江局	一般環境	0.14	0.11	0.098	0.081	0.059	0.054	0.075	0.071	0.056	0.057	0.041	0.037	0.030	0.030	0.026	0.046	0.030	0.031	0.045	0.039	0.038	0.033	0.042												
浜田市	浜田合庁局	一般環境	0.18	0.19	0.10	0.085	0.092	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	—	—	—	0.14	0.10	0.055	0.11	0.084	0.055	0.062	0.054	0.039	0.038	0.038	0.034	0.038	0.036	0.034	0.034	0.034	0.032	0.019	0.032												
安来市	和銅博物館	発生源周辺	0.23	0.35	0.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
松江市	西津田自排局	沿道	0.23	0.27	0.20	0.18	0.20	0.25	0.24	0.19	0.14	0.12	0.044	0.041	0.033	0.033	0.028	0.032	0.021	0.031	0.030	0.020	0.021	0.023	0.013	0.021	0.018										
(4) ジクロロメタン			単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$																																		
市町村	測定地点	地域分類	年平均値																																		
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度												
松江市	国設松江局	一般環境	1.2	0.74	0.57	0.42	0.37	0.38	0.41	0.43	0.34	0.45	0.44	0.51	0.38	0.38	0.37	0.42	0.41	0.56	0.56	0.50	0.47	0.47	0.49												
浜田市	浜田合庁局	一般環境	0.90	0.40	0.38	0.31	0.34	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	—	—	—	0.49	0.45	0.29	0.43	0.46	0.38	0.52	0.46	0.49	0.37	0.37	0.43	0.44	0.47	0.60	0.73	0.55	0.49	0.50	0.52												
安来市	和銅博物館	発生源周辺	0.56	0.54	0.54	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
松江市	西津田自排局	沿道	2.0	1.0	0.85	0.50	0.62	0.38	0.54	0.62	0.43	0.50	0.46	0.56	0.36	0.36	0.40	0.38	0.42	0.60	0.59	0.53	0.55	0.59	0.49												
(5) アクリニトリル			単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$																																		
市町村	測定地点	地域分類	年平均値																																		
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度												
松江市	国設松江局	一般環境	—	0.083	0.0027	0.028	0.058	0.048	0.044	0.023	0.021	0.018	0.045	0.038	0.029	0.012	0.016	0.013	0.014	0.022	0.013	0.014	0.017	0.017													
浜田市	浜田合庁局	一般環境	—	0.35	0.16	0.017	0.054	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	—	—	—	0.027	0.083	0.10	0.14	0.085	0.055	0.069	0.090	0.11	0.068	0.068	0.019	0.020	0.025	0.019	0.026	0.021	0.015	0.017	0.021												
安来市	和銅博物館	発生源周辺	—	0.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
松江市	西津田自排局	沿道	—	0.021	—	0.038	0.18	0.17	0.15	0.10	0.091	0.10	0.10	0.13	0.088	0.088</																					

## (9) 水銀及びその化合物

単位: ng/m<sup>3</sup>

市町村	測定地点	地域分類	年平均値																						
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
松江市	国設松江局	一般環境	—	2.3	1.8	2.1	2.2	1.9	1.8	1.9	2.0	2.2	2.0	1.6	1.4	1.5	1.6	2.0	2.0	2.1	1.9	1.8	1.6	1.7	1.6
浜田市	浜田合庁局	一般環境	—	2.0	1.9	2.0	1.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	—	—	—	2.0	2.3	2.1	2.2	2.4	1.9	2.2	2.0	2.0	2.5	2.1	2.3	2.3	2.2	2.0	1.8	2.0	1.9	2.0	2.3
安来市	和銅博物館	発生源周辺	—	2.3	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松江市	西津田自排局	沿道	—	2.4	2.0	2.1	2.0	2.0	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

## (10) ニッケル化合物

単位: ng/m<sup>3</sup>

市町村	測定地点	地域分類	年平均値																						
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
松江市	国設松江局	一般環境	4.0	2.8	0.66	3.2	1.3	2.5	1.5	0.83	0.93	2.1	1.6	0.57	1.4	1.4	1.8	1.8	<2.1	3.1	1.7	1.1	0.50	1.4	1.5
浜田市	浜田合庁局	一般環境	3.0	1.4	0.65	2.3	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	—	—	—	2.7	1.4	2.9	0.96	1.2	1.4	2.5	1.5	0.72	2.4	1.2	3.9	3.9	2.1	3.8	1.9	2.6	1.8	6.0	3.3
安来市	和銅博物館	発生源周辺	99	48	90	86	21	82	40	38	34	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松江市	西津田自排局	沿道	5.0	3.4	1.4	4.4	0.84	1.8	0.91	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
安来市	安来市中央支営センター	発生源周辺	—	—	—	—	—	—	—	4.8	6.3	13	14	7.5	5.9	5.3	—	—	14	10.0	4.1	5.4	8.1	5.0	4.0
安来市	安来市勤労青年少年ホーム	発生源周辺	—	—	—	—	—	—	—	—	6.4	14	14	7.4	7.9	10	9.0	—	—	—	—	—	—	—	—

## (11) ヒ素及びその化合物

単位: ng/m<sup>3</sup>

市町村	測定地点	地域分類	年平均値																						
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
松江市	国設松江局	一般環境	1.9	2.6	0.85	2.4	1.3	1.9	6.6	1.1	1.7	2.4	2.5	0.96	2.0	1.2	2.1	1.7	1.5	1.8	1.2	2.3	0.70	1.3	0.91
浜田市	浜田合庁局	一般環境	1.9	2.3	1.1	3.5	1.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	—	—	—	2.3	1.7	2.0	1.7	1.7	1.6	2.8	2.7	0.98	4.0	1.6	2.1	1.8	1.7	2.0	1.3	2.7	0.76	1.6	1.4
安来市	和銅博物館	発生源周辺	2.0	3.1	1.1	2.4	1.1	4.6	2.4	2.0	1.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松江市	西津田自排局	沿道	2.1	3.3	1.4	2.9	1.5	2.2	2.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
安来市	安来市中央支営センター	発生源周辺	—	—	—	—	—	—	—	2.1	1.5	1.8	2.4	1.3	1.0	1.2	—	—	1.9	1.8	1.3	2.5	0.88	1.5	1.2
安来市	安来市勤労青年少年ホーム	発生源周辺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9	2.9	1.2	4.3	1.6	2.8	1.6	—	—	—	—	—	—	—

## (12) 1,3-ブタジエン

単位: μg/m<sup>3</sup>

市町村	測定地点	地域分類	年平均値																						
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
松江市	国設松江局	一般環境	—	—	0.058	0.049	0.055	0.057	0.068	0.077	0.042	0.083	0.053	0.10	0.063	0.063	0.046	0.044	0.018	0.028	0.034	0.029	0.030	0.028	0.015
浜田市	浜田合庁局	一般環境	—	—	0.14	0.091	0.092	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	—	—	—	0.11	0.16	0.083	0.10	0.12	0.065	0.14	0.088	0.12	0.076	0.076	0.057	0.045	0.038	0.044	0.042	0.040	0.042	0.022	0.020
安来市	和銅博物館	発生源周辺	—	—	0.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松江市	西津田自排局	沿道	—	—	0.49	0.34	0.40	0.36	0.42	0.37	0.27	0.35	0.23	0.36	0.19	0.19	0.16	0.11	0.08	0.073	0.082	0.070	0.062	0.043	0.018

## (13) マンガン及びその化合物

単位: ng/m<sup>3</sup>

市町村	測定地点	地域分類	年平均値																							
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	
松江市	国設松江局	一般環境	15	14	7.4	35	7.9	27	19	8.3	9.1	13	14	6.5	12	8.2	13	13	9.2	15	7.5	6.4	3.8	12	6.3	
浜田市	浜田合庁局	一般環境	11	13	8.4	27	8.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	—	—	—	29	19	17	17	12	8.9	17	20	9.9	17	11	24	24	15	21	16	18	12	40	15	
安来市	和銅博物館	発生源周辺	140	65	120	88	53	180	93	53	77	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
松江市	西津田自排局	沿道	27	23	15	41	15	23	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
安来市	安来市中央支営センター	発生源周辺	—	—	—	—	—	—	21	37	37	64	24	11	15	—	—	37	30	20	23	19	21	15	—	
安来市	安来市勤労青年少年ホーム	発生源周辺	—	—	—	—	—	—	—	23	41	33	24	27	57	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

## (14)

（17）酸化エチレン																			単位：μg/m³						
市町村	測定地点	地域分類	年平均値																						
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
松江市	国設松江局	一般環境	—	—	—	0.023	0.069	0.050	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
出雲市	出雲健康福祉C	発生源	—	—	—	0.034	0.11	0.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（18）トルエン																			単位：μg/m³							
市町村	測定地点	地域分類	年平均値																							
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	
松江市	国設松江局	一般環境	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.84	0.50	0.49	0.47	0.60	—	—	
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	1.2	1.3	1.0	1.3	1.0	1.1	1.0
松江市	西津田自排局	沿道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.5	1.3	1.3	1.2	1.1	1.2	1.1	0.99

（19）ベリリウム及びその化合物																			単位：ng/m³						
市町村	測定地点	地域分類	年平均値																						
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
松江市	国設松江局	一般環境	0.20	0.047	0.014	0.054	0.019	0.040	0.024	0.012	0.014	0.019	0.022	0.0057	0.016	0.012	0.0083	0.0095	0.013	0.025	0.0060	0.015	0.020	0.017	0.008
浜田市	浜田合庁局	一般環境	0.20	0.040	0.020	0.035	0.025	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	—	—	—	0.032	0.020	0.026	0.014	0.0079	0.0052	0.0085	0.026	0.0071	0.016	0.012	0.016	0.013	0.014	0.026	0.0090	0.017	0.020	0.024	0.019
安来市	和銅博物館	発生源周辺	0.20	0.055	0.032	0.023	0.020	0.035	0.0071	0.014	0.043	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松江市	西津田自排局	沿道	0.20	0.047	0.018	0.057	0.026	0.037	0.017	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
安来市	安来市中央交換センター	発生源周辺	—	—	—	—	—	—	—	0.011	0.011	0.030	0.030	0.0084	0.013	0.0091	—	—	0.016	0.027	0.0080	0.019	0.020	0.023	0.019
安来市	安来市勤労青年ホーム	発生源周辺	—	—	—	—	—	—	—	0.012	0.030	0.020	0.020	0.014	0.013	0.0083	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（20）ベンゾ[a]ピレン																			単位：ng/m³						
市町村	測定地点	地域分類	年平均値																						
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
松江市	国設松江局	一般環境	—	0.054	0.066	0.095	0.11	0.20	0.14	0.13	—	0.15	0.13	0.28	0.22	0.14	0.10	0.092	0.066	0.099	0.086	0.092	0.051	0.11	0.060
浜田市	浜田合庁局	一般環境	—	0.038	0.13	0.13	0.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松江市	工業団地周辺	発生源周辺	—	—	—	0.17	0.16	0.14	0.15	0.21	—	0.28	0.15	0.24	0.20	0.11	0.11	0.078	0.092	0.13	0.076	0.13	0.085	0.11	0.088
安来市	和銅博物館	発生源周辺	—	0.087	0.22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松江市	西津田自排局	沿道	—	0.28	0.40	0.22	0.30	0.32	0.31	0.37	—	0.31	0.19	0.34	0.25	0.15	0.14	0.10	0.085	0.13	0.087	0.12	0.050	0.094	0.071

\*安来市中央交換センターは、平成17年度から平成22年度まで環境省が測定実施、平成25年度から島根県が測定実施

## VII. 酸性雨調查結果

## 1. 酸性雨測定結果

松江、江津における令和元年度の月ごとの降水量、pH、nss-SO<sub>4</sub><sup>2-</sup>、NO<sub>3</sub><sup>-</sup>、NH<sub>4</sub><sup>+</sup>、nss-Ca<sup>2+</sup>の濃度および沈着量を示した。なお、nss-は非海塞性成分であり、Na<sup>+</sup>を海塩指標成分として海塩由来を補正したものである。

表1) 松江市における各月の降水量、pH および主要イオン成分濃度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年加重平均
降水量(試料量による) [mm]	82	87	147	226	258	152	162	24	154	126	131	159	* 1710
pH	4.67	5.17	4.84	4.83	4.97	4.81	4.62	4.41	4.34	4.59	4.53	4.85	4.70
nss-SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> [μmol/L]	23.9	4.2	9.5	6.9	5.6	7.7	11.0	38.4	23.1	13.5	24.5	13.9	12.4
NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> [μmol/L]	46.5	4.5	15.3	8.2	8.4	12.2	16.5	74.1	47.3	18.1	27.4	23.2	19.7
NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> [μmol/L]	50.0	4.2	15.4	6.3	5.2	7.9	10.8	46.8	30.5	12.1	29.8	25.6	16.2
nss-Ca <sup>2+</sup> [μmol/L]	13.0	1.2	1.8	0.8	0.9	0.7	1.5	20.9	2.8	1.1	2.9	5.1	2.6

\*は合計値を示す

表2) 松江市における各月の主要イオン成分沈着量

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間沈着量
H <sup>+</sup> [mmol/m <sup>2</sup> ]	1.8	0.6	2.1	3.3	2.8	2.4	3.9	0.9	7.1	3.3	3.9	2.3	34.3
nss-SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> [mmol/m <sup>2</sup> ]	2.0	0.4	1.4	1.6	1.4	1.2	1.8	0.9	3.5	1.7	3.2	2.2	21.3
NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> [mmol/m <sup>2</sup> ]	3.8	0.4	2.3	1.9	2.2	1.9	2.7	1.8	7.3	2.3	3.6	3.7	33.7
NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> [mmol/m <sup>2</sup> ]	4.1	0.4	2.3	1.4	1.3	1.2	1.7	1.1	4.7	1.5	3.9	4.1	27.8
nss-Ca <sup>2+</sup> [mmol/m <sup>2</sup> ]	1.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.5	0.4	0.1	0.4	0.8	4.5

表3) 江津市における各月の降水量、pH および主要イオン成分濃度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年加重平均
降水量(試料量による) [mm]	81	63	132	185	186	110	132	20	96	112	89	121	* 1327
pH	4.64	4.76	4.69	4.81	4.94	4.9	4.61	4.38	4.36	4.43	4.56	4.78	4.66
nss-SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> [μmol/L]	24.4	14.0	15.8	7.0	5.9	6.5	9.8	30.4	21.7	18.4	22.6	14.4	13.5
NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> [μmol/L]	43.4	7.8	16.1	7.8	6.0	7.1	13.1	56.9	42.5	39.7	22.5	20.6	19.1
NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> [μmol/L]	50.1	8.3	17.1	5.6	4.3	4.4	6.3	33.7	29.0	29.9	22.9	21.3	16.1
nss-Ca <sup>2+</sup> [μmol/L]	10.9	2.2	1.9	0.9	0.6	0.2	0.9	7.7	2.3	2.4	2.9	4.9	2.4

\*は合計値を示す

表4) 江津市における各月の主要イオン成分沈着量

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間沈着量
H <sup>+</sup> [mmol/m <sup>2</sup> ]	1.9	1.1	2.7	2.9	2.1	1.5	3.2	0.9	4.2	4.2	2.5	2.0	29.0
nss-SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> [mmol/m <sup>2</sup> ]	2.0	0.9	2.1	1.3	1.1	0.7	1.3	0.6	2.1	2.1	2.0	1.7	17.9
NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> [mmol/m <sup>2</sup> ]	3.5	0.5	2.1	1.4	1.1	0.8	1.7	1.2	4.1	4.4	2.0	2.5	25.4
NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> [mmol/m <sup>2</sup> ]	4.1	0.5	2.3	1.0	0.8	0.5	0.8	0.7	2.8	3.3	2.0	2.6	21.4
nss-Ca <sup>2+</sup> [mmol/m <sup>2</sup> ]	0.9	0.1	0.3	0.2	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.6	3.2

## 2. 経年変化

松江市、江津市における平成9～令和元年度の年間降水量および年加重平均pHを表5、6、図1、2に、主要イオン成分( $H^+$ 、 $nss-SO_4^{2-}$ 、 $NO_3^-$ 、 $NH_4^+$ 、 $nss-Ca^{2+}$ )の年加重平均濃度および年間沈着量の経年変化を、表7～10および図3、4に示す。

なお、参考として、平成17年度で調査終了した川本町の測定結果を併せて県内3地点の経年変化を示した。

表5) 年間降水量

(単位: mm/year)

年度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
松江市	2101	1696	1704	1489	2022	1595	2293	2029	1597	1877	1893	1573	1912	2158	2220	1409	2319	1697	1781	1861	1903	1868	1710
江津市	1982	1366	1511	1437	1895	*1197	1843	2126	1439	1983	1931	1448	1585	1446	1608	1247	2517	1499	1499	1763	1383	1650	1327
川本町	2569	1688	1787	1818	*1631	1898	2110	2398	1723														

\*江津市 — 捕集装置の故障により長期欠測あり (H14年10月28日～H15年1月27日)

\*川本町 — 捕集装置の故障により長期欠測あり (H13年12月26日～H14年2月26日)

表6) 年平均pH

年度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
松江市	4.82	4.89	4.72	4.69	4.90	4.58	4.69	4.58	4.46	4.55	4.59	4.54	4.60	4.60	4.60	4.57	4.55	4.57	4.64	4.62	4.69	4.75	4.70	
江津市	4.71	4.62	4.64	4.54	4.72	*4.65	4.60	4.66	4.43	4.53	4.54	4.47	4.58	4.58	4.53	4.56	4.57	4.57	4.51	4.61	4.66	4.69	4.73	4.66
川本町	4.78	4.82	4.67	4.66	*4.77	4.58	4.63	4.66	4.54															

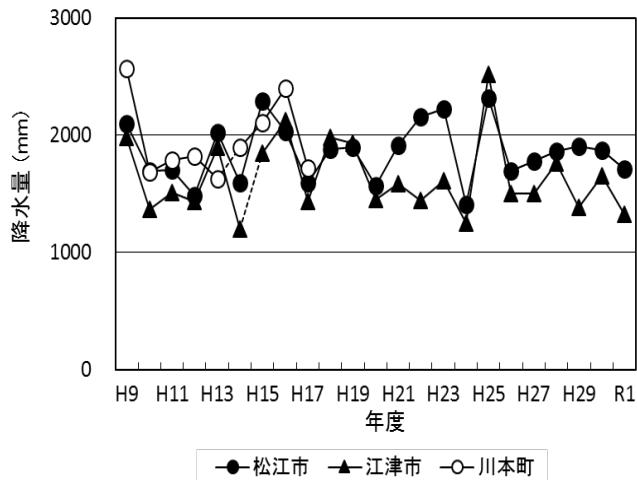


図1 降水量の経年変化

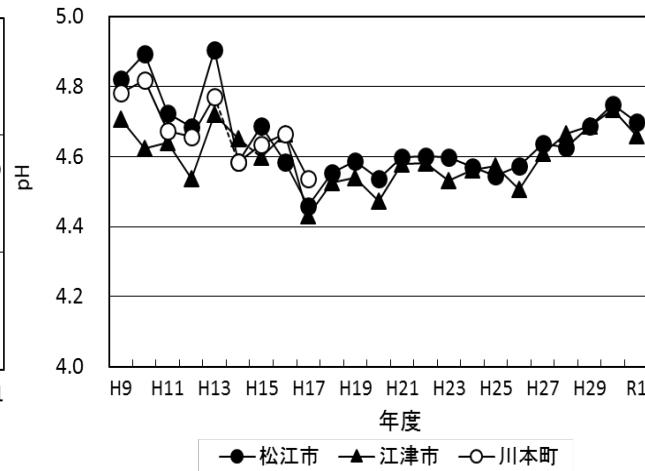


図2 年平均pHの経年変化

表7) 松江市における主要イオン成分平均濃度

(単位:  $\mu\text{mol/L}$ )

年 度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
nss-SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	15.6	14.0	16.5	24.4	13.0	18.9	14.3	16.8	24.3	24.1	24.6	20.9	19.7	20.4	16.5	19.0	17.7	18.9	13.4	14.7	12.0	13.1	12.4
NO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	19.2	18.1	23.5	25.1	16.0	23.8	17.4	20.4	29.1	28.8	28.4	28.0	26.6	32.5	23.2	27.5	25.9	27.5	22.5	21.7	24.3	24.0	19.7
NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	17.1	18.6	21.5	22.4	14.2	22.1	13.4	13.9	24.5	22.7	25.5	24.2	23.3	26.0	17.6	20.6	22.6	22.0	17.3	18.7	18.8	21.8	16.2
nss-Ca <sup>2+</sup>	6.2	6.2	7.6	13.9	7.9	5.4	3.9	3.9	8.4	8.0	9.4	6.4	5.6	7.4	3.9	7.0	4.1	5.6	3.8	3.0	3.8	4.7	2.6

表8) 江津市における主要イオン成分平均濃度

(単位:  $\mu\text{mol/L}$ )

年 度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
nss-SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	15.5	18.0	20.0	28.9	17.0	* 21.3	20.3	18.5	28.7	27.5	28.1	22.0	20.7	18.9	18.8	19.7	16.6	20.1	14.1	12.9	12.0	11.9	13.5
NO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	17.2	19.2	21.9	26.2	22.4	* 24.8	24.9	23.2	35.8	31.3	29.7	28.3	24.5	30.2	25.0	25.3	22.8	29.8	22.2	18.7	21.2	19.5	19.1
NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	16.3	19.3	17.4	25.2	19.1	* 25.4	18.0	14.6	29.0	25.9	25.9	22.3	23.3	22.0	19.7	19.6	20.6	24.4	16.1	15.2	16.5	15.0	16.1
nss-Ca <sup>2+</sup>	3.7	4.2	4.9	11.3	7.1	* 5.6	5.5	5.5	9.1	7.8	10.4	5.2	9.3	7.2	3.7	5.2	3.2	4.0	3.5	2.0	3.5	3.4	2.4

(参考) 川本町における主要イオン成分平均濃度 (単位:  $\mu\text{mol/L}$ )

年 度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
nss-SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	13.2	15.1	17.1	23.3	* 14.2	18.3	15.8	13.9	25.3
NO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	15.8	21.2	21.5	24.5	* 16.4	25.3	21.2	20.0	33.4
NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	15.4	21.6	17.9	23.1	* 16.4	24.8	17.1	14.5	26.4
nss-Ca <sup>2+</sup>	3.2	5.4	4.3	10.0	* 5.7	4.4	4.2	6.6	8.7

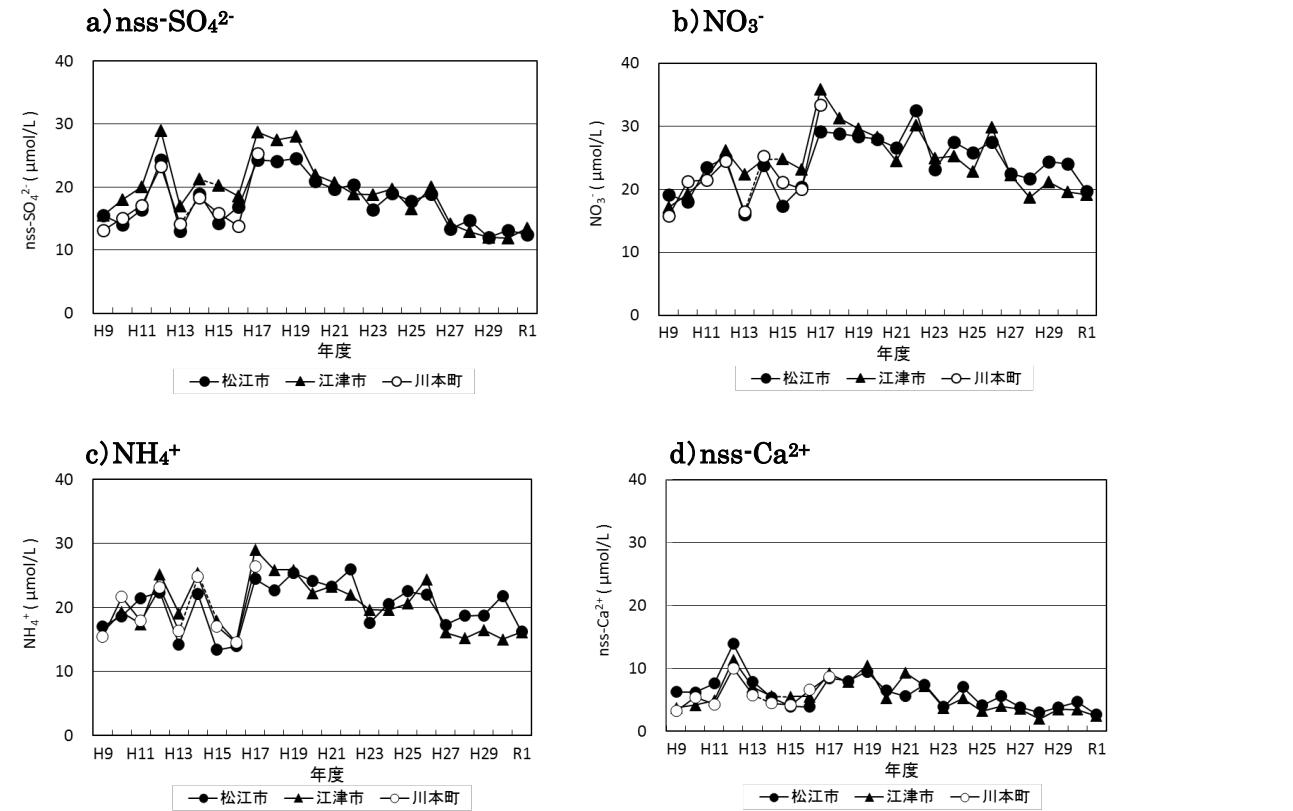


図3 県内3地点における主要イオン成分年加重平均濃度の経年変化 (平成9~令和元年度)

\*H13年度の川本町およびH14年度の江津市のデータは長期欠測期間があったため採用せず

表 9) 松江市における主要イオン成分平均沈着量

(単位: mmol/m<sup>2</sup>)

年 度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
H <sup>+</sup>	31.7	21.7	32.2	30.7	25.3	41.7	47.3	52.8	55.4	52.6	49.0	45.1	48.2	54.1	56.2	37.8	66.1	45.3	41.1	44.2	39.1	33.3	34.3
nss-SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	32.7	23.8	28.1	36.3	26.3	30.2	32.7	34.2	38.8	45.2	46.5	32.9	37.6	43.9	36.6	26.8	41.1	32.0	23.8	27.4	22.8	24.5	21.3
NO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	40.3	30.6	40.1	37.3	32.3	38.0	39.9	41.3	46.5	54.1	53.8	44.1	50.9	70.2	51.5	38.8	60.0	46.7	40.2	40.3	46.3	44.9	33.7
NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	35.8	31.6	36.6	33.3	28.8	35.2	30.8	28.3	39.1	42.6	48.2	38.1	44.5	56.0	39.0	29.0	52.3	37.3	30.8	34.8	35.7	40.8	27.8
nss-Ca <sup>2+</sup>	13.1	10.5	12.9	20.7	15.9	8.5	9.0	7.9	13.4	14.9	17.9	10.1	10.7	16.0	8.6	9.9	9.5	9.5	6.8	5.6	7.3	8.7	4.5

表 10) 江津市における主要イオン成分平均沈着量

(単位: mmol/m<sup>2</sup>)

年 度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
H <sup>+</sup>	38.9	32.5	34.7	41.8	36.1	* 26.6	46.7	46.1	53.4	59.0	55.9	48.9	41.9	37.9	47.4	34.3	67.3	46.6	36.9	38.3	31.8	30.5	29.0
nss-SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	30.8	24.6	30.3	41.6	32.3	* 25.5	37.4	39.4	41.3	54.5	54.2	31.8	32.9	27.3	30.2	24.5	41.7	30.1	21.2	22.8	16.6	19.7	17.9
NO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	34.1	26.2	33.1	37.6	42.5	* 29.6	45.8	49.3	51.6	62.1	57.3	41.0	38.8	43.6	40.2	31.5	57.5	44.7	33.3	32.9	29.3	32.2	25.4
NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	32.2	26.3	26.3	36.2	36.2	* 30.4	33.1	31.1	41.8	51.3	50.0	32.2	36.9	31.8	31.6	20.8	52.0	36.6	24.1	26.8	22.8	24.8	21.4
nss-Ca <sup>2+</sup>	7.4	5.7	7.4	16.3	13.4	* 6.7	10.2	11.7	13.2	15.5	20.2	7.6	14.7	10.4	6.0	6.5	8.1	6.0	5.3	3.5	4.8	5.7	3.2

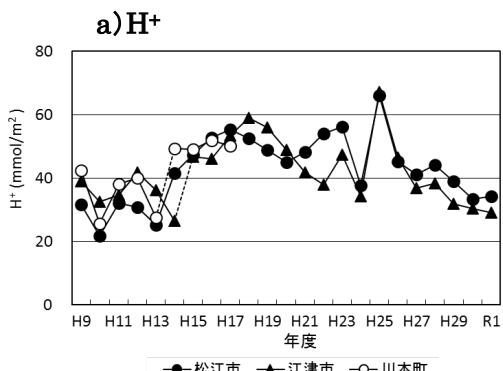
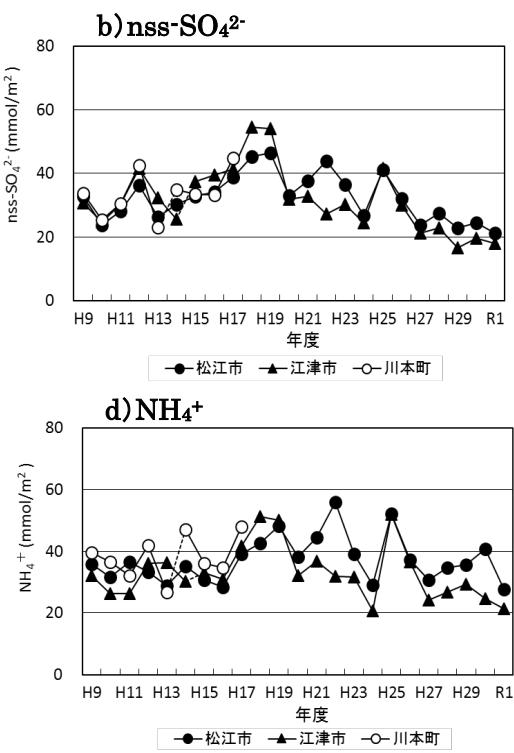
(参考) 川本町における主要イオン成分平均沈着量(単位:mmol/m<sup>2</sup>)

図 4 県内 3 地点における主要イオン成分年別沈着量の経年変化 (平成 9~令和元年度)

\*H13 年度の川本町および H14 年度の江津市のデータは長期欠測期間があったため採用せず

参考 島根県内地上気象観測所における月平均気温、降水量の平年比較（令和元年度）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均 気 温 (°C)	松江地方気象台	—	++	○	○	+	++	++	+	++	++	+	++
	浜田特別地域気象観測所	○	++	○	○	+	+	++	+	++	++	+	++
降水量(mm)	松江地方気象台	○	--	○	-	+	○	+	--	○	-	○	+
	浜田特別地域気象観測所	○	--	○	-	++	--	+	--	○	○	○	○

++:かなり高い（多い） +:高い（多い） ○:平年並 -:低い（少ない） --:かなり低い（少ない）

気象庁報道発表資料 (<http://www.jma.go.jp/jma/press/tenko.html>) を参考とした。

## [付録] 高濃度オキシダント事象の概況

# 高濃度光化学オキシダント事象の概況

令和元年度に島根県で観測された高濃度光化学オキシダント（以下、 $0_x$ ）事象（いずれかの測定局で光化学  $0_x$  濃度の 1 時間値が  $0.10 \text{ ppm}$  以上を観測）は 1 事象であり、この事象の概況を表 1 に、解析結果を以下に示す。

なお、気象状況の解析には、気象庁の天気図や気象観測データを使用した。後方流跡線解析は、NOAA 「HYSPLIT」モデルを用いて、 $0.10 \text{ ppm}$  を超過した測定局の上空  $1500\text{m}$  を初期値として三次元法により計算（最高濃度観測時刻から 3 日間遡及）した。

## 1. 5月 23 日～26 日の事象

2019 年 5 月 23 日の日本域地上天気図を図 1 に示す。東シナ海から高気圧が張り出し、ほぼ全国的に晴れて気温が上昇した。島根県内の気象状況は、東シナ海を中心を持つ高気圧に覆われ全域で概ね晴れしており、降水を観測した地点はなかった。県内全域で西寄りの風が吹いており、大陸方向からの越境汚染の影響を受けやすい気象状況であった。

2019 年 5 月 22 日～27 日の県内 8 局における光化学  $0_x$  濃度の経時変化を図 2 に示す。この期間、各測定局において 23 日に光化学  $0_x$  濃度の最高値が  $0.12 \text{ ppm}$  を超過し、光化学  $0_x$  注意報を発令した。24 日も県内全域で最高値が  $0.10 \text{ ppm}$  を超過し、注意報を継続した。25 日にはほとんどの測定局で最高値が  $0.10 \text{ ppm}$  を下回り、注意報を解除した。26 日には再び各測定局において  $0.10 \text{ ppm}$  を超過した。27 日以降は濃度が低下した。

県内全域で光化学  $0_x$  濃度の最高値が  $0.12 \text{ ppm}$  を超過し注意報を発令した 2019 年 5 月 23 日の県内 8 局における光化学  $0_x$  濃度の経時変化を図 3 に示す。いずれの測定局でも同様な濃度推移を示しており、9 時ごろから濃度が上昇し始め、11 時ごろには  $0.10 \text{ ppm}$  を超過した。そこから約 4 時間は横ばいで推移したが、15 時ごろから再び濃度が上昇し始め、16 時から 21 時にかけて  $0.12 \text{ ppm}$  を超過した。

2019 年 5 月 23 日に中国・四国・九州地方で  $0.12 \text{ ppm}$  以上の光化学  $0_x$  が観測された地点を図 4 に示す。主に中国・九州地方の北部で観測されていたが、瀬戸内や九州南部など、広い範囲で高濃度の光化学  $0_x$  が観測されていた。

期間内最高濃度を記録した 2019 年 5 月 23 日 18 時の各測定局における後方流跡線解析結果を図 5 に示す。島根県に到達した気塊はいずれの測定局でも同様の移流経路を示しており、大陸方向から黄海、朝鮮半島を経由していた。このことから、本事象は大陸及び朝鮮半島からの光化学  $0_x$  の移流の影響を受けたものと考えられる。

2019 年度に観測された高濃度光化学  $0_x$  事象は 1 事象のみであったが、例年と比べ長期間高濃度が観測された。さらに最高濃度もこれまで  $0.12 \text{ ppm}$  程度であったが、2019 年 5 月の事象では  $0.144 \text{ ppm}$  まで上昇し、島根県初となる光化学  $0_x$  注意報を発令した。

2019 年 5 月は全国的に例年と比べ高気圧に覆われて晴れの日が多く、気温も高かった。島根県でも松江では 5 月として観測史上 1 位の多照、観測史上 4 位の高温、観測史上 3 位の少雨となっており、光化学  $0_x$  生成に関する光化学反応が起こりやすい気象条件であった。

気候変動の影響で、これまで以上に高濃度の光化学  $0_x$  が観測される可能性があり、光化学  $0_x$  注意

報の発令頻度も高くなっていくと考えられる。そのため今後も引き続き光化学Ox濃度を監視し、気象パターンも含めた解析を続けていく必要がある。

表1 2019年度における高濃度光化学Ox事象の概況

No.	年月日	最高濃度 / ppm	0.10 ppm以上が観測された測定局	気圧配置	後方流跡線
			益田合庁、浜田合庁、江津市役所、 <b>大田</b> 、出雲保健所、雲南合庁、 国設松江、安来		
	2020/5/23	0.144 (18時)			
1	2020/5/24	0.117 (19時)	益田合庁、 <b>浜田合庁</b> 、江津市役所、 大田、出雲保健所、雲南合庁、 国設松江、安来		大陸方向
	2020/5/25	0.104 (11時)	雲南合庁、 <b>安来</b>	東シナ海高気圧	黄海沿岸
	2020/5/26	0.113 (17時)	益田合庁、浜田合庁、江津市役所、 <b>大田</b> 、出雲保健所、雲南合庁、 国設松江、安来		朝鮮半島

※太字下線の測定局は当日中最高濃度を示す。

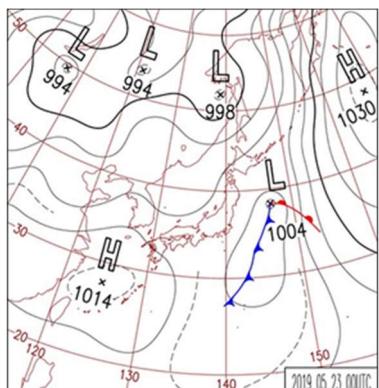


図1 2019年5月23日9時における日本域地上天気図

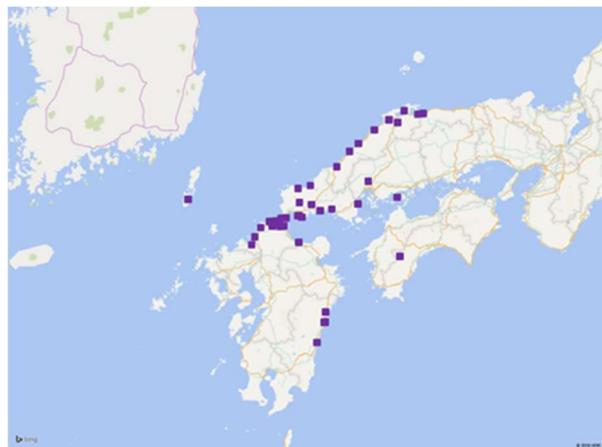


図4 2019年5月23日に中国・四国・九州地方で0.12 ppm以上の光化学O<sub>x</sub>が観測された地点

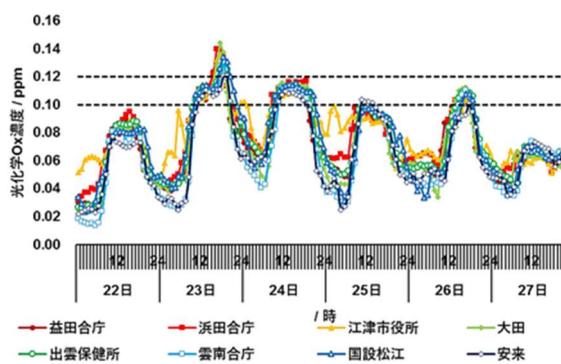


図2 2019年5月22日～27日における光化学O<sub>x</sub>濃度経時変化

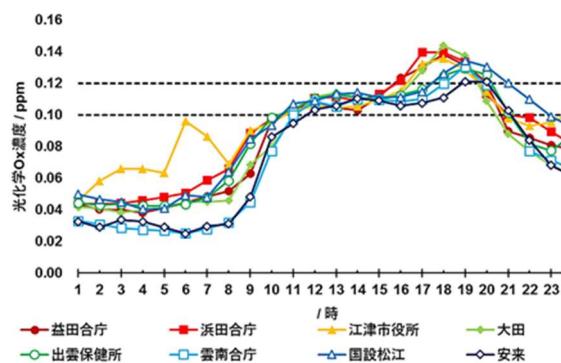


図3 2019年5月23日における光化学O<sub>x</sub>濃度経時変化

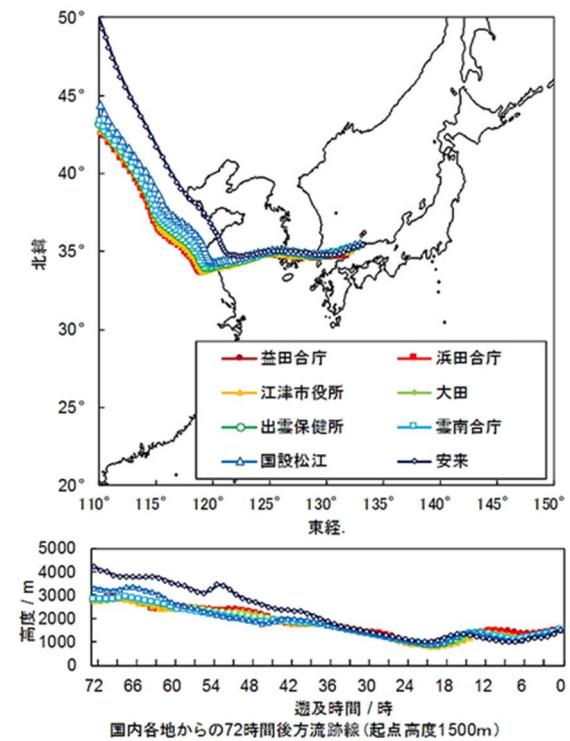


図5 2019年5月23日18時における後方流跡線解析結果

## 令和元年度大気環境測定結果報告書

(令和 4 年 12 月)

問い合わせ先：〒690-0122 島根県松江市西浜佐陀町 582-1

島根県保健環境科学研究所 大気環境科

電話 (0852) 36-8181 FAX (0852) 36-8171

※本ページに掲載したデータを利用し結果を公表する場合は、上記の問い合わせ先までご連絡ください。（酸性雨調査結果を除く松江市分のデータについては、松江市環境対策課  
電話：0852-55-5274 へご連絡をお願いします。）